

平成 27 年度 燕市 姉妹都市子ども交流事業・海外派遣事業

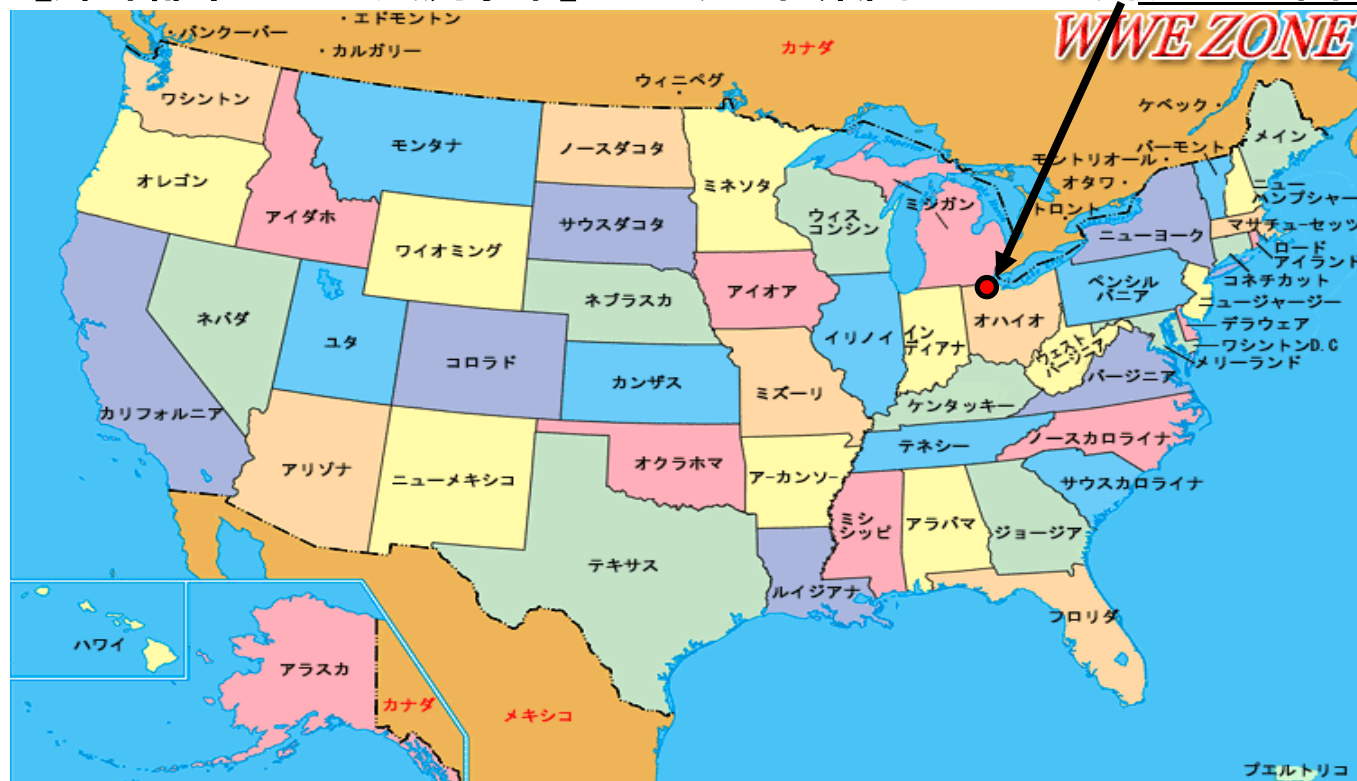
報 告 書

The most precious time in
our lives

We made Tsubame City
connect the world.



【姉妹都市子ども交流事業】アメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村



【親善大使海外派遣事業】

オーストラリア連邦
西オーストラリア州パース市



シンガポール共和国
シンガポール市



表紙写真説明

- 上段左：ダンディ派遣団到着歓迎会で前年度の燕市派遣団と対面
- 上段右：ダンディ高校で文化紹介と日本食のサービス
- 下段左：海外派遣事業出発式での親善大使
- 下段右：シンガポール市の新潟県人会との交流でのPR活動

平成 27 年度燕市姉妹都市子ども交流事業・海外派遣事業報告書 目次

はじめに 燕市長 鈴木 力 2

ごあいさつ 燕市教育委員会教育長 上原 洋一 3

【姉妹都市子ども交流事業】

ダンディ派遣団滞在日程 4

ダンディ派遣団員感想 6

ダンディ派遣団員アンケート 14

広報つばめ平成 27 年 9 月 15 号掲載記事 17

ダンディ派遣団記念写真 18

ダンディ派遣団引率者報告 19

【Jack & Betty プロジェクト海外派遣事業】

海外派遣事業日程 20

親善大使活動報告 22

親善大使体験報告 26

親善大使アンケート 63

広報つばめ 平成 27 年 10 月 15 日号掲載記事 67

海外派遣事業研修参加者、引率者報告 68

はじめに

燕市長 鈴木 力



今年度、燕市の国際交流事業は昨年度と同様に2つの事業を実施しました。

1つ目は、姉妹都市こども交流事業として、アメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村に4人の中学生と引率者1人を派遣しました。

派遣団は、この事業で、ダンディ村の見学やホームステイなどを中心に、ダンディ村やその近郊の地域の歴史、伝統、風習などを学ぶとともに、燕市の特色ある行事や日本の文化を紹介したり、日本食を作って現地の関係者に食べていただいたりして、交流を深めました。

彼らにとっては、初めての外国での生活であり、戸惑うこともあったことと思います。今回は、昨年度に燕市を訪問したダンディの中学生がホスト・ファミリーになってくれたことで、1年ぶりの再会を果たしたり、燕市をよく知っている上での交流ができたりして、現地で充実した日々を過ごし、たくさんの思い出を作って帰国することができました。御協力をいただいたダンディ村の皆様に、心から御礼申し上げます。

2つ目は、3年目を迎えた Jack & Betty プロジェクトの海外派遣事業です。今年度も英語スピーチコンテストを6月に実施して、そこで選出された12人の親善大使を8月にオーストラリアのパースとシンガポールに派遣しました。

パースでは、ホームステイをしながら現地の小学校に通い、オーストラリアの自然や環境、文化の違いを学びながら、地元の子どもたちとの友情をはぐくむことができました。また、燕市のPR活動を行うことで、燕市の産業や伝統技術などを知っていただき、相互交流を図ることができました。また、シンガポールでは、新潟県人会の皆様と交流し、海外で働くことや暮らすことについてのよさや苦勞、英語を使うことの大切さを学ぶことができました。

この2つの事業は、いずれも燕市の関係者からの御支援と御理解、派遣先の受入れがあって実現することができております。事業に御協力をいただいている事業者、企業の皆様に心から感謝申し上げます。

今後も、燕市の将来を担い、国際的に活躍できる人材の育成に力を注いでまいります。また、国際交流事業を通して、市民の皆様の国際理解が深まるとともに、魅力ある燕市を世界に発信することができるよう、一層の充実を図っていきたいと考えております。引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

ごあいさつ

燕市教育委員会 教育長 上原 洋一



燕市教育委員会は、今年度の国際交流事業で一段とステップアップすることができました。

姉妹都市子ども交流事業では、昨年度の受入れに引き続いて、今年度は派遣する側となりました。また、平成 25 年度から始まった Jack & Betty プロジェクトは、親善大使を 2 カ国に派遣しました。

姉妹都市子ども交流事業では、4 人の中学生がダンディ村を訪問しました。派遣団の中には、昨年度のダンディからの派遣団員を受け入れてくださった御家庭のお子さんがおり、今回の訪問で 1 年ぶりの再会となりました。このような相互交流ができたことは、とても素晴らしいことです。

初めての海外での生活で、言葉も習慣も大きく異なる環境でありながら、派遣団員が笑顔で過ごすことができたのは、受け入れてくださったダンディの御家庭や住民の皆様が優しく温かく接してくださったからだと思います。今回の派遣団の滞在が、燕市姉妹都市について知る良い機会となるとともに、交流事業の一層の発展になれば幸いです。派遣団員には、今後も姉妹都市ダンディ村と燕市を結ぶ立場に立って、市民レベルの交流を推進してくれることと期待しています。

もう 1 つの事業である親善大使の訪問は、今年度は 2 カ国でした。真冬のオーストラリアと常夏のシンガポールでは、気候も真逆で現地での生活には適応力が求められたことと思います。現地では、生活様式や環境、考え方などの違いに柔軟に対応しながら、ホスト・ファミリーや現地でできた友人、外国で働く社会人の方々との交流を通して英語の力を伸ばし、たくさんのことを学ぶことができました。

また、燕市親善大使としての役割である PR 活動にも一生懸命に取り組み、発表後はたくさんの方々から賞賛していただきました。さらに、シンガポールでは新潟県人会の方々と交流することができました。PR 活動や交流を通して、燕市のことを誇りに思い、郷土愛をはぐくむとともに、海外から見た自分たちのふるさとの姿を知ることができたと思います。親善大使には、これからも燕市の代表であったことを忘れず、目標を高くもち、自分の経験を多くの人たちに伝えながら、学校や地域でリーダーとして活躍してくれることを期待しております。

最後になりますが、この国際交流事業に御協力くださった事業者の皆様、保護者、地域の皆様にご心から感謝申し上げます。今後も、事業の充実と発展を推進してまいりますので、皆様の御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

ダンディ派遣団滞在日程

平成27年度 燕市姉妹都市交流事業(アメリカ・ダンディ村)日程		
月 日	日 程	
7月27日(月)	10:45 燕三条駅集合	(ホームステイ)
	11:19 燕三条駅出発	
	13:20 東京駅到着	
	13:33 東京駅出発	
	14:29 成田空港到着	
	17:45 成田空港出発	
	(日付変更線通過)	
	18:00 デトロイト空港到着	
	19:40 歓迎会(ダンディ高校)	
	20:30 各ホストファミリー宅へ	
7月28日(火)	10:30 トレド動物園見学(オハイオ州トレド市)	(ホームステイ)
	12:00 昼食(園内でピクニック)	
	12:30 水族館見学(トレド動物園内)	
	14:00 トランポリン体験	
	16:30 トレド市内見学、夕食	
	19:00 野球観戦(フィフス・サード・スタジアム:トレド市)	
7月29日(水)	9:00 ダンディ村学校視察	(ホームステイ)
	10:00 カベラ見学(ハンティング用品店)	
	11:00 ダンディ村役場、ダンディ村警察視察	
	12:00 昼食(ダンディ村職員と広場でピクニック)	
	13:30 カヌー体験(レイズン川)	
7月30日(木)	11:00 シダー・ポイント遊園地訪問(オハイオ州)	(ホームステイ)
7月31日(金)	10:00 グリーンフィールドビレッジ博物館見学(ミシガン州ディアボーン市)	(ホームステイ)
8月1日(土)	終日ホストファミリーと過ごす	(ホームステイ)
8月2日(日)	終日ホストファミリーと過ごす	(ホームステイ)

月 日	日 程	
8月3日(月)	10:00 ショッピング(オハイオ州トレド市)	(ホームステイ)
	14:30 日本食パーティの準備	
	17:30 日本食パーティ	
	18:00 おいらん道中紹介、つばめっ子かるた遊び	
8月4日(火)	9:30 ダンディ市街散策、記念写真撮影	(ホームステイ)
	12:30 モンロー・カウンティ・フェア見学	
	18:00 オット先生宅で夕食	
	20:00 ゴーカート、ミニゴルフ体験	
8月5日(水)	11:00 ホストスチューデント、アメリカ人の子どもたちとパーティ(オット先生宅)	(ホームステイ)
	18:00 ホストファミリーとお別れパーティ(オット先生宅)	
8月6日(木)	8:30 ホストファミリーと朝食(レストランにて)	(機内泊)
	10:30 ダンディ村出発	
	11:30 デトロイト空港着	
	14:05 デトロイト空港発	
	(日付変更線通過)	
8月7日(金)	16:10 成田空港到着	
	17:16 成田空港出発	
	18:18 東京駅到着	
	18:52 東京駅出発	
	20:55 燕三条駅到着	

ホームステイした 10 日間

燕中学校 2年 七里 桃子

私はアメリカで本当の英語と触れ合いたい、会話したいと思いアメリカへ行きました。

アメリカに行って初めに、ホスト・ファミリーのジェニーさん一家に銅のタンブラーのお土産を渡しました。燕市は、金属加工品や洋食器で有名だからです。「ありがとう!」と言って喜んでもらえました。私が、もっと英語が話せれば、燕市の有名なものだけでなく他のことも話したかったです。

ダンディ村では、高校の調理室を借りて日本食を派遣団員全員で作りました。焼きそば、玉子焼き、唐揚げ、味噌汁、チョコ入りのたこ焼きを作りました。招待客約 50 人分の食事を作ることは大変でした。箸がなかったので、玉子焼きを作るのに苦労しました。焼きそばとたこ焼きの評判が良かったです。味が濃いのが人気でした。

日本食を作った後に、「分水おいらん道中」を紹介する映像を見てもらい、英語で説明しました。残念ながら、本番では緊張して声が小さくなってしまいました。しかし、聞いてくださった方々から「きれいな英語を話しますね」と言われて嬉しかったです。

ダンディ村やデトロイトなどで体験したことは、アメリカの昔を再現した博物館に行き、1900 年代の初めに作られた車に乗ったことです。昔のエンジンなどを改造して動くようになっていました。エアコンなしでも、今の車と同じくらいの涼しさでした。また、馬車のような乗り物もありました。思ったより揺れなくて驚きました。他にも、カヌー体験やシダー・ポイントという遊園地に行きました。シダー・ポイントでは、一番古いジェットコースターに乗りました。傾斜やカーブが急で、落下すると腰が浮いたり横に動いたりしたので怖かったです。

ダンディ村の役場の湖で、カヌーに乗せてもらいました。かなり長い間乗っていたので、雨が降ってきて、最後はみんながぐたくたになりながら頑張っていました。

ダンディ村には、「カベラ」という世界的に有名な狩猟やアウトドア用品専門店の本店があります。全米からお客さんが来るので、とても混雑していました。店内には、鹿や熊のはく製がたくさん飾られていたり、池があつたりして驚きました。

この体験を通して思ったことは、もっと英語を話したかったということです。ホスト

・ファミリーのローレンや友だちのオリビアから話しかけてもらっても、分からないことがたくさんありました。質問にも Yes や No だけしか答えられなかったのも、とても後悔しました。アメリカへ行って、英語にも興味をもちました。



写真上：グリーンフィールド・ビレッジの馬車に乗って。

写真左：アメリカの友達と「つばめっ子かるた」で遊びながら交流。



「目標と成果」

行き先	アメリカ合衆国・ダンディー	氏名	七里 桃子
-----	---------------	----	-------

1 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標① 積極的に会話をすることです。自分から積極的に話しかけ、
会話が弾むようにしたいです。

目標② ホストファミリーのみなさんに、しやりと燕の話を紹介することです。
燕が有名な洋食器を持っていたりしたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ほぼ達成できませんでした。Yes, NOは答えても
そのあとが続かなく、あまり会話は弾みませんでした。でも、自分から
積極的に話しかけた点ではよかったです。

目標②について 達成できました。銅のアンダーを持っていき、「ありが
とりの大団円にするわ。」と言ってくださったのがとても嬉しかったです。
しやりと説明できたのも良かったです。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

たくさんあるんですが、一番印象的だったのは、グリーンフィールド・ビ
レッジ博物館に行ったことです。アメリカの昔を再現してありました。
服装や食べ物なども全て再現されていて、びっくりしました。「博物館
」と言うと、物だけじゃなくてあそび場でもあります。アメリカ人は
動物もいる村自体を再現していました。とてもすごいと思いました。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英語を学んでみたい。英語やアメリカに関わる仕事に就きたいです。
それから、もっといっぱい英語を勉強したいです。

5 海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

アメリカに行くなら、はじめての会話がまたほうが楽しいと思います。
だから、せっかくアメリカに行くなら英語をたくさん知っとくといいたいです。

一生の宝物

小池中学校 2年 袖山 遼



昨年の夏、僕の家庭はダンディ村の派遣団員のアディソンという男の子の中学生を受け入れ、ホスト・ファミリーとして10日間を一緒に過ごしました。今年は、自分が派遣団員としてダンディ村に行くことになりました。出発前は、昨年の夏の思い出がたくさんよみがえり、彼が日本に滞在していたことが数日前のように感じました。友達に会いに行くという楽しみが大きくて、不安は2～3%くらいしかありませんでした。

デトロイト空港に到着した直後は、アメリカにきた実感がありませんでした。しかし、今回のホスト・ファミリーを引き受けてくれたアディソンや、昨年一緒に燕市にきた派遣団員のみんなと再会して、とても嬉しかったです。そのときは、2～3%のわずかな不安すらもうない状態でした。

しかし、僕は7月30日の朝はとても不安でした。その日は、隣のオハイオ州にあるシダー・ポイントという大きな遊園地へ行くことになっていたからです。僕は、ジェットコースターが苦手で、何年も乗っていませんでした。最初に乗ったジェットコースターは、とても怖かったです。今でも、なぜあんな怖いものに乗れたのだろうと不思議に思っています。

ホスト・ファミリーのお宅には、3匹の犬がいました。僕は犬が好きではなかったので、犬がこちらに寄ってくると逃げてしまいました。それを見たホスト・ファミリーは犬との遊び方を教えてくれました。おかげで犬と遊ぶようになり、犬が少し好きになりました。また、ホスト・ファミリーは僕に対して分かりやすい単語を使ったり、ゆっくり話してくれたりしたので、必要最低限のことは理解できました。だんだん慣れてくると、自分からも話しかけられるようになりました。

アメリカは食べ物のサイズが大きく、お店でコーラを注文したらとても大きいカップに入ったコーラがでてきました。あまり時間がないときに一気に飲んだら、腹痛でしばらく動けませんでした。



お別れパーティーのときには、友達がバスケットボールや野球に誘ってくれました。僕は、使っている言葉は違うけれど、分かり合えるのだと改めて感じました。

この夢のような10日間は、僕の一生の宝物です。この海外派遣をとても楽しいものにしてくれたホスト・ファミリーに、また会える日が来ることを願っています。

写真上：イマジネーション・ステーション博物館にて。

写真左：ホスト・ファミリーと自宅の前で。

「目標と成果」

行き先	アメリカ合衆国・ダンディー	氏名	袖山 遼
-----	---------------	----	------

1 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標① 現地の人と積極的に会話し、ホームステイでの10日間をフル活用することです。

目標② 初めての体験はばかりだと思いが、何事にもチャレンジしていくことです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ホストファミリーとは、積極的に会話することができたが、会話を続けることは難しかったです。

目標②について 昔なジェットコースターに乗ったり、好き嫌いをせず、アメリカの食べ物に何でも挑戦しました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

日本食サービスで焼きそばを作って召し上がって頂いたときに、すごく良いと言われて安堵したことです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

もっと英語を勉強して、また海外へ行ってみたいです。そして、自分の力で不自由なく過ごせるようになりたいです。

5 海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

知っている単語を並べただけでも少しはわかるので、語彙を豊富にすることをおすすめします。

忘れられない思い出

県立燕中等教育学校 3年 木村 愛美

私は、ダンディ村で想像以上の貴重な体験をすることができました。

7月27日、私は姉妹都市へ向けて飛行機に乗りました。約12時間という長いフライトの中で、私はこれから始まるアメリカでの生活に期待と不安を寄せていました。

ダンディ村に到着すると、ホスト・ファミリーが笑顔で出迎えてくれました。最初はとても不安でしたが、”Hello.”と挨拶を交わすうちに、緊張がほぐれていきました。

2日目、隣のオハイオ州にあるトレド市の動物園を見学しました。とても広く、本物の野生の世界を見ているようでした。水族館もあり、泳ぐ魚がとてもきれいでした。

3日目、ダンディ村の学校や役場を訪問しました。学校の教室には日本のような黒板がなく、ホワイトボードがありました。午後からは、カヌー体験をしました。途中から雨が降ってびしょ濡れになりましたが、楽しかったです。

4日目、シダー・ポイント遊園地に行き、ジェットコースターに何度も乗りました。夜には、きれいな花火も見えました。

週末は、ホスト・ファミリーと過ごしました。買い物に行ったり、湖で乗り物に乗ったりして、仲良くなることができました。

8日目、私たちの提案で「分水おいらん道中」の映像を現地の関係者やホスト・ファミリーの皆さんに見ていただいたり、日本食のサービスなどをしたりしました。「つばめっ子かるた」では、意外に多くの人がかかるたを取ることができたので驚きました。

9日目、ダンディ村の隣にあるモンロー市で「モンロー・カウンティ・フェア」という大きなお祭りを見学し、動物をたくさん見ました。

11日目の最終日は、ホスト・ファミリーや現地の方々に感謝の気持ちを伝え、デトロイト空港に向けて出発しました。

私はダンディ村で過ごした10日間で、大きく成長できました。このような素晴らしい機会を与えてくださった方々に感謝しています。私はこれからも一生懸命英語を勉強して、いつか自分の力で海外に行ってみたいです。



写真上：グリーンフィールド・ビレッジ博物館で昔の印刷機で印刷体験をしたとき。

写真左：ホスト・ファミリーと夕食。ローレンとケイトと一緒に。



「目標と成果」

行き先	アメリカ合衆国・ダンディー	氏名	木村愛美
-----	---------------	----	------

1 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標① 様々なことに興味を持ち、アメリカの文化、人々の考え方を学ぶ。現地での体験を大切に、積極的に行う。

目標② 英語を完璧に話すことにこだわらない。ジェスチャーを交えて、自分の伝えたいことを相手に伝える努力をする。

2 目標は達成できましたか？

目標①について アメリカでの体験はとても新鮮でおもしろく、興味をもてました。アメリカ人は友好的で、明るいことが分かりました。多くのことに挑戦できたので、嬉しいです。

目標②について 「Yes」「No」などの簡単な英語を使い、対象のものを指さすなどして、現地の方と会話することができました。気持ちか伝わるのだと知り、嬉しく思いました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーと過ごした休日です。特に印象に残ったのは、seadooというとても速い乗り物に乗ったことです。ボートのようなもので、湖をとても速く進んでいき、途中で水中にふり落とされたりしました。日本ではあまり見ない遊びでしたが、ホストファミリーや友達と楽しく乗ることができ、思い出に残りました。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

日常会話をもっと勉強して、外国人と一対一でコミュニケーションをとれるくらいになりたいです。そして、海外へ行く機会を大切に、多くの経験を積んでいきたいです。

5 海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

質問されたときの「Yes」「No」などの受け答え、相手に何かしてもらったときの「Thank you」などがとても重要だと思います。毎日、ホストファミリーとの貴重な会話を大切にしてください。

I miss America.

県立燕中等教育学校 3年 外山 亜里

私はこの海外派遣事業で、アメリカ合衆国ダンディ村へ行ってきました。

出発前にホスト・ファミリーが決まりました。事前に何度もメールの交換をしたので、到着後に対面したときも、初めて会った感じがしないほどお互い打ち解け合えた気がしました。ホスト・ファミリーには私と近い年齢の男の子と女の子がおり、いつも仲良く私に接してくれました。彼らは買い物へ行ったり遊びに行ったりするときもほとんど一緒に、とても楽しく過ごすことができました。

休日には、彼らの祖母の家へ連れて行ってもらいました。祖母の家の近くには、湖がありました。ホスト・ファミリーのクルーザーに乗せてもらい、その湖で遊びました。別の日には、カナダにも連れて行ってもらいました。私は、カナダから見たデトロイトの夜景を今でも忘れられません。高層ビルや道路には色とりどりの光がちりばめられ、とても幻想的だったことを覚えています。

アメリカへ行く前は、コミュニケーションがとれるのか不安な気持ちでしたが、笑顔でいたらお互いの思いも通じるのだと感じました。私たちは、現地の人たちと交流するため、日本食を作りもてなしました。燕市の有名なお祭りである「分水おいらん道中」について英語で説明したり、「つばめっ子かるた」で遊んだりしました。

全く違う環境に住んでいても、気持ちは理解し合えるのだと気付きました。私は、この10日間を本当に楽しい思い出ばかりの日々にすることができました。日本では経験できないことの連続でした。今回お世話になったホスト・ファミリーの方々、ダンディ村の方々、そしてこのような素敵な機会を与えてくださった方々に感謝しています。

Thank you for everything. I want to go back to Dundee.



写真上：ホスト・スチューデントのアントと祖父のボートにて。

写真左：休日にみんなでゲームをしたとき。

「目標と成果」

行き先	アメリカ合衆国・ダンディー	氏名	外山 亜里
-----	---------------	----	-------

1 国際交流事業（海外派遣）に参加するにあたって、目標を決めましょう。

目標① ホストファミリーと共に過ごすことで
異文化を交流し、色々な考え方を身につける。

目標② 積極的に笑顔でコミュニケーションをとり、
楽しい時間を過ごす。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 異文化を交流することができましたが、
色々な考え方を身につけることができませんでした。

目標②について 積極的にコミュニケーションをとることは
できなかったが、笑顔で楽しい時間を過ごすことが
できた。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

カナダへ行ったことが印象に残りました。
そこから見えるアメリカの風景がとても美しく今でも
心に残っています。また、ダンディー村の人々の優しさ
にも驚きました。すごく親切で、私はダンディー村の皆が
大好きです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

悔いの残ることが多かったのもう一度ダンディー村
へ行きたいです。そのために英語をもっと勉強し、
ホストファミリーと連絡を取り合いたいです。

5 海外派遣を希望する人へのアドバイスを書いてください。

たくさん話題を持って行き、コミュニケーションをとる
機会をつくると、より交流を深めることができると思い
ます。

ダンディ派遣団員 アンケート

派遣先	学年	性別
アメリカ合衆国 ダンディ	中学2年2人 中学3年2人	男1人 女3人

Q1 海外派遣はどうでしたか？

①とてもよかった 4人 ②よかった ③ふつう ④よくなかった

- その理由は？
（具体的に）
- ・ とてもよくしてもらいました。
 - ・ ホスト・ファミリーがいつも側にいて、一緒に行動することができたからです。
 - ・ 日本とは違うアメリカ独特の生活や街並み、人々の考え方などを知ることができたから。
 - ・ アメリカならではの食べ物や遊びがあって、とても新鮮でした。
 - ・ ホスト・ファミリーは、とても気さくで居心地が良かったです。

Q2 日程はどうでしたか？

①ややきつかった ②きつかった ③やや楽だった 1人 ④楽だった 3人

- 体調や精神面で特につらいと感じたときはありましたか？あれば具体的に書いてください。（飛行機、英語、食事、日程など）

〔 ・ アメリカに来てからの3～4日は、食事が合わずほとんど食べられませんでした。しかし、その後はとても好きになりました。 〕

Q3 期間はどうでしたか？

①やや長かった ②ちょうどいい 3人 ③やや短かった 1人 ④短かった

Q4 海外派遣の中で、良かった場所や活動は何ですか？ 「特に良かった」こと1つに◎、「良かった」こと4つ以内に○を記入してください。また、「良くなかった」ことがあれば、3つ以内のものに△を記入してください。

◎「特に良かったこと」

- ・ ホスト・ファミリーと過ごした週末
- ・ グリーンフィールド・ビレッジ博物館
- ・ 買い物
- ・ シダー・ポイント遊園地

○「良かったこと」

- ・ 歓迎会
- ・ 「おいらん道中」紹介
- ・ 「つばめっ子かるた」紹介
- ・ 野球観戦
- ・ 「モンロー・カウンティ・フェア」見学
- ・ ダンディ村の学校訪問
- ・ ゴーカートとミニゴルフ
- ・ 役場訪問
- ・ アメリカ人の友だちとパーティー
- ・ カヌー体験
- ・ お別れパーティー（2人）

- ・ シダー・ポイント遊園地 (2人)
- ・ 買い物 (2人)
- ・ 日本食のサービス (3人)

△「あまり良くなかったこと」

- ・ 特になし

Q5 ホームステイで良かったことを書いてください。また、困ったことがあれば、具体的に書いてください。また、困ったことを解決するために自分がしたり、事前に準備したりしておくべきことを具体的に書いてください。

①良かったことは？

- ・ ホスト・ファミリーに親切にもらったことです
- ・ ホスト・ファミリーが、私の言いたいことをよく理解しようとしてくれました。また、たくさん話しかけてくれました。
- ・ ホスト・ファミリーが犬との遊び方を教えてくれたおかげで、犬を少し好きになれたことです。

②困ったことは？

- ・ 洗濯をしてもらうタイミングが分かりませんでした。
- ・ シャワーのお湯の出し方が分からず、数日間水を浴びていました。

③自分のしたことや事前の準備は？

- ・ ホスト・ファミリーの皆さんに、お土産を準備しました。
- ・ 行く前に、スーツケースの中身を半分くらい空けておいたことです。
- ・ ゴミ袋を数枚用意し、ゴミとペットボトルを分けられるようにしました。

Q6 海外派遣で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどがあれば、具体的に書いてください。

- ・ 特にありませんでした。

Q7 海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- ・ 昨年、友達になれた人とまた会えてとても嬉しかったです。この活動はとても楽しく、全て良かったと思います。
- ・ とても良い思い出になりました。ありがとうございました。ダンディ村と燕市との交流が、これからも続いてほしいです。
- ・ とても楽しかったので、もう一度交流したいです。

Q8 ホストファミリーのお土産として、何を持っていきましたか。具体的に書いてください。

- ・ 扇子
- ・ 写真のアルバム
- ・ 家族に書いてもらった日本の漢字の色紙
- ・ 抹茶味のお菓子
- ・ 寿司のストラップやマグネット
- ・ 手裏剣のマグネット
- ・ 食べ物やお菓子の形の消しゴム
- ・ 日本のキャラクターのキーホルダー
- ・ 和紙の便せん
- ・ タオル

聞き！ 見！ そして！

平成 27 年度姉妹都市
子ども交流事業



アメリカ合衆国
ダンディ村

みんなの感動体験記

熱市から約10,000km離れた姉妹都市アメリカ合衆国ミシガン州ダンディ村へ、7月27日から8月7日まで中学生4人を派遣しました。派遣生はホームステイをしながら現地の生活に触れ、アメリカの文化を学び、たくさんの貴重な体験をしました。ダンディ村での滞在中の様子と派遣生たちの声を紹介します。

●七尾 桃子さん（新中学校2年）

アメリカの昔の生活を再現した博物館に行きました。そこで、知恵の輪をしたり、100年も前に作られた車に乗ったりしました。アメリカのことを知ることができてよかったです。



知恵の輪などの昔の遊びをホストファミリーと一緒にチャレンジしている様子



100年以上前のフォード車に乗っている様子（後方中央）



グリーンフィールドビレッジ博物館に向かっている様子（右）

●福山 遼さん（小池中学校2年）

ホストファミリーの親切な気配りが最も印象に残りました。英語が分からなかったときには、粘り強く丁寧に何度も教えてくれたり、常に健康状態に気を遣ってくれました。



スパゲティが美味しかったファミリーディナー



昔の暮らしがよくわかった「グリーンフィールドビレッジ」



みんなで楽しんだ「つばめ」のかるた

●本村 愛美さん（新中等教育学校3年）

ホストファミリーは優しく友好的で、多くのことを教えてくれました。わたしは、アメリカのお祭りが印象に残りました。動物のコンテスト、魔術ショーが面白かったです。



ホストファミリーと夕食時の記念撮影



ホストファミリーと食べたお寿司



モンロー・カウンティ・フェア見学

●外山 藍さん（新中等教育学校3年）

ホストファミリーと過ごした休日がとても印象に残りました。ボートやクルーザーに乗り、日本ではふだんできないような体験ができました。



ホストファミリーとボートにて



ショーの前ホスト・スチュエントと



週末にカナダでのコマ

ダンディ派遣団 記念写真

ダンディ村ホストのアーロンさんが、みんなの記念写真を撮ってくれました。ホストファミリーの皆さんは、心のあたたかい方ばかりでした。この笑顔は、一生の宝物です。



ホストファミリーと派遣団員全員で記念撮影（オット先生宅前）。



七里桃子さんファミリー



袖山遼さんファミリー



木村愛美さんファミリー



外山亜里さんファミリー

【ダンディ派遣団 引率者報告】

燕市教育委員会 学校教育課 指導係長 田邊 佳代子

姉妹都市ダンディ村では、初めて海外へ行った派遣団員が「アメリカ大好き！」になるのに十分すぎるもてなしを受けました。ホスト・ファミリーの方々は、常に派遣団員の体調を気遣ってくれ、楽しんでいるかどうか気に掛けてくれていました。

日本語が通じませんので、初めのうちは、派遣生がどうしても伝えるのが難しいことがあると、私が代わりにそれぞれのホスト・ファミリーに伝えていたこともありましたが、滞在も半ばを過ぎると、初めてのことに對しても堂々と対応し、「こうしたいのですが…あ、やっぱり自分でお願いします！」とか、何かミスをしたときも「自分で謝ってきます！」などの頼もしい言葉が聞かれました。

また、派遣生がダンディ村の方々へ日本食のサービスをし、「分水おいらん道中」の紹介プレゼンテーションを英語でこなし、「つばめっ子かるた」をアメリカ人の友達みんなでやりおわったあと、「とても楽しかった！」と満面の笑顔を見せてくれた時は、本当に嬉しく思いました。

この 10 日間の経験をした派遣団員が、これからどのような夢や目標をもってこの先の人生を歩んでいくのかと考えるとわくわくします。たくさんの夢を叶えていってほしいです。

大きな病気も事故もなく無事に全ての行程をこなすことができたこと、そして派遣団員のために様々な配慮をしてくださった関係者の皆様に心から感謝いたします。

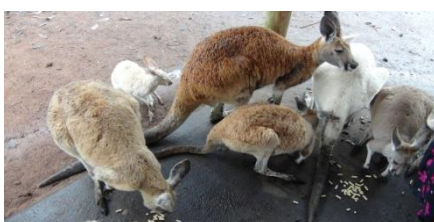


2014年ダンディ村からの派遣団員と
2015年燕市派遣団員による寄せ書き

海外派遣事業日程

月日	日程	
8月17日(月)	10:50 燕三条駅集合 10:55 出発式 11:26 燕三条駅出発 13:20 東京駅到着 13:44 東京駅出発 14:20 羽田空港到着 17:10 羽田空港出発 23:05 シンガポール空港(経由地) 到着	(機内泊)
8月18日(火)	00:05 シンガポール空港(経由地) 出発 05:15 パース空港到着 06:30 パース市内視察 ① Kings Park ② Swan Bell Tower ③ City Council ④ Perth Station ⑤ Cottlesloe Beach ⑥ Fremantle 14:30 コーバン市到着 Aubin Grove Primary School にてホスト・ファミリーと対面	(ホームステイ)
8月19日(水)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 日本語授業参観① 12:15 バディ・ステューデントと対面、交流、昼食 13:50 燕市PR活動① (プレゼンテーション)	(ホームステイ)
8月20日(木)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 バディ・ステューデントとの授業に参加(英語、算数、美術) 12:15 バディ・ステューデントと交流、昼食 13:00 バディ・ステューデントの授業に参加、または日本語授業参観②	(ホームステイ)
8月21日(金)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 Aubin Grove Primary School 出発 10:00 The Margaret River Chocolate Factory 見学 10:50 Caversham Wildlife Park 見学 13:00 アボリジニ・アート、楽器演奏見学・体験 15:30 Aubin Grove Primary School 到着	(ホームステイ)
8月22日(土)	終日ホスト・ファミリーと過ごす。	(ホームステイ)
8月23日(日)	終日ホスト・ファミリーと過ごす。	(ホームステイ)

8月24日(月)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 バディ・ステューデントの授業に参加、または日本語授業参観③ 12:15 バディ・ステューデントと交流、昼食 13:00 日本語授業参観④(5年生のインタビュー活動)	(ホームステイ)
8月25日(火)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 ホスト・ファミリーへの感謝のメッセージ作成 11:30 バディ・ステューデントの授業に参加、または日本語授業参観⑤ 12:15 バディ・ステューデントと交流、昼食 13:00 燕市PR活動②(クイズ、歌)	(ホームステイ)
8月26日(水)	08:50 登校、健康観察、日程確認 09:00 バディ・ステューデントの授業に参加 11:00 Aubin Grove Primary School 出発 12:00 パース空港到着 14:45 パース空港出発 19:00 シンガポール空港到着 20:15 夕食 21:30 ホテル到着	(ホテル泊)
8月27日(木)	07:00 朝食 09:00 ホテル出発 09:30 日本自治体等連合シンガポール事務所訪問 11:00 アラブ人街見学 12:00 昼食 13:15 マーライオン公園見学 14:30 スリ・マリアマン寺院見学 15:00 チャイナ・タウン見学 16:30 ホテル到着 17:00 ホテル出発 17:30 新潟県人会との交流、燕市PR活動③(プレゼンテーション、歌) 20:30 ホテル到着	(ホテル泊)
8月28日(金)	05:30 ホテル出発 06:00 シンガポール空港到着、朝食 08:05 シンガポール空港出発 16:10 羽田空港到着 17:00 羽田空港出発 17:45 東京駅到着 18:12 東京駅出発 19:59 燕三条駅到着	



親善大使活動報告

1 P R活動の内容

(1) プレゼンテーション

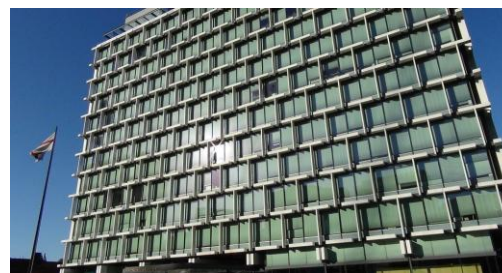
- ① 燕市の自然・地理・交通・農業
- ② 燕市の学校教育
- ③ 燕市の金属加工業
- ④ 燕市の観光・名所・名産品

(2) 文化紹介

- ① つばめっ子かるた
- ② 日本の歌

(3) 表敬訪問

- ① パース市庁舎
- ② 日本自治体等連合シンガポール事務所



パース市庁舎。



パース市庁舎表敬訪問で燕市からの親書を渡しました。

2 場所・対象者・期日

No.	場所	期日
(1)	Aubin Grove Primary School (全校集会)	8月19日(水)
(2)	Aubin Grove Primary School (6年生授業)	8月25日(火)
(3)	新潟県人会シンガポール支部	8月27日(木)



日本自治体等連合シンガポール事務所のあるシンガポール市内の金融街。

3 担当

No.	P R活動 の内容	メンバー		
(1)	燕市の自然・農業	瀧澤 朋香	長谷川 由	高桑 舞
(2)	燕市の学校教育	西海土和花	田中 凜歩	三部 優哉
(3)	燕市の金属加工業	落合 知奈	松田 万葉	外山よつ葉
(4)	燕市の観光・名所	阿部詩央里	児玉 大河	小林 怜佳



Aubin Grove Primary School では、折り紙を教えたり絵を描いたりして、日本の文化を伝えました。

燕市PR活動で得たもの

燕中学校	1年	高桑	舞
吉田中学校	3年	瀧澤	朋香
県立燕中等教育学校	3年	長谷川	由



PR会場となった学校の集会場。

今回、私たちは Aubin Grove Primary School で2回のPR活動を行いました。このPR活動は、親善大使の大切な役割の1つです。PR活動は、大勢の人たちを前にして行うプレゼンテーション形式と、楽しみながら燕市を知ってもらうためのクイズ形式の2種類を用意しました。

私たちは、何度も繰り返し原稿を読み、出発前にたくさん練習しました。また、オーストラリアでもホスト・ファミリーに単語の発音やアクセントを質問したりして、少しでも分かりやすい発表にしようと努力しました。

初めてのPR活動では、約120人の児童と先生方が私たちのPR活動を聞いてくれました。燕市の自然、環境、教育、金属加工業、観光などを、12人で分担して英語で紹介しました。発表では、練習したように、発音やアクセントに気を付けて、聞いてくれる人たちに分かりやすいように、大きな声でゆっくり話すことを心がけました。

緊張もありましたが、皆さんがとても熱心に聴いてくれました。発表が終わってから、代表児童がお礼を言ってくれたり、先生から親善大使全員を紹介してもらったりしました。バディ・ステューデントやその友達からは、「とても上手だった」と褒めてもらいました。

発表を振り返ると、大きな声でゆっくり読むことができました。改善点は、顔を上げてスラスラと読めるようになることだと思いました。

PR活動を聞いた後の反応から、皆さんから燕市に関心をもってもらえたと思います。12人で協力して、成功させることができて良かったです。



クイズ形式のPR活動。この後で歌も披露しました。



6年生はお礼に校歌を歌ってくれました。

パース市の魅力

～西オーストラリアの自然と歴史～

吉田中学校	3年	児玉	大河
県立燕中等教育学校	1年	阿部	詩央
県立燕中等教育学校	3年	小林	怜佳



カバシャム動物園でウォンバットと記念撮影。

私たちは、西オーストラリア州の州都であるパース市に1週間滞在しました。滞在中に、2回の市内視察をする機会がありました。視察を通して、事前にオーストラリアについて学習したことを確認したり、新たに知ることができたりしました。

パース市に到着してから、すぐに1回目の視察が始まりました。この日に訪問した場所の中で、特に印象に残ったのがキングス・パークと旧フリーマントル刑務所です。

キングス・パークでは、第1次世界大戦の戦没者慰霊塔を見ました。慰霊塔の中には、壁に戦没者の氏名がびっしりと彫られていましたが、空白の部分がありました。よく見ると、戦争の名前も第1次世界大戦だけでなく、現在に至るまでの戦争の戦没者が記録されています。空白の部分はこれからのためなのだと分かったと、とても複雑な気持ちになりました。

旧フリーマントル刑務所は、19世紀に英国から送られた囚人たちが建てた刑務所で、1991年まで使用されていました。現在は、「オーストラリアの囚人遺跡群」として世界遺産に登録されています。

2回目の視察は、カバシャム・ワイルドライフ・パークに行き、オーストラリアの固有種である動植物を見ることができました。ここでは、カンガルーやコアラなどに触ったりえさを与えたりすることができます。カンガルーの赤ちゃんが白いことや、オーストラリアが国の政策として固有種を保護していることが分かりました。

動物園の見学を終えた後で、先住民のアボリジニの絵画や楽器演奏の体験をすることができました。最初にブーメランに絵を描きました。昔は、絵が情報伝達や物語を継承する手段であったので、絵の模様や色などに意味をもたせたり、自分なりのストーリーを描くとよいという説明を受けました。楽器演奏では、「デジュリドゥ」という伝統楽器を吹かせてもらいました。息を長く吹き込むので最初は難しかったのですが、何度も挑戦しているうちに音が出るようになり、先生から褒めてもらいました。このように、視察を通してたくさんのことを学ぶことができました。

燕市と世界のつながりを知って

～日本自治体等連合シンガポール事務所訪問を通して～

分水小学校 6年 西海土 和花
吉田中学校 2年 田中 凜歩
吉田中学校 3年 三部 優哉

私たちは、今回の海外派遣で日本自治体等連合シンガポール事務所を訪問することができました。この事務所は、燕市を含めて日本全国の7つの市町村が共同で運営しています。それらの市町村の産業や特色を東南アジアの諸国にPRして、交流を推進したり産業を振興したりすることが主な役割です。

訪問して、所長の笠原雄人様から、東南アジアの状況や日本とのつながりなどについて詳しく説明を聞くことができました。

その中で、特に印象に残ったことが2つあります。1つ目は、シンガポールから多くの人々が燕市に来ており、燕市の金属加工品や洋食器などを見てくれていることです。燕市の製品は、海外から注目されるほどの高い品質を誇っています。そのような優れた製品を、事務所を通して取引先や展示会などで紹介したり、燕市を訪問してもらうような働きかけをして、さらなる発展を目指したりしていることが分かりました。

2つ目は、シンガポールは多民族国家ですので、現地の人たちは英語だけでなく中国語や自分の国の言葉など、2つ以上の言語を使うことが当たり前であるということです。特に、外国人にとって、相手が自分の国の言葉を話してくれるというのはとても嬉しいことで、それだけで親近感がわき、お互いの距離がとても近くなるということも教わりました。

これらのことも含めて、私たちは燕市の産業の素晴らしさや日本の魅力を再認識することができました。それと同時に、日本も国内だけでなく海外に目を向けて、自分たちの国や故郷の良さを伝えていくことが必要だと思いました。そのためにも、私たちはもっと英語を勉強して、海外について学び、燕市の良さを発信することができるようになりたいです。



日本自治体等連合シンガポール事務所のビルの前で。



笠原所長様から、アジアと燕市のつながりを学びました。

シンガポール視察と新潟県人会との交流

燕北中学校	3年	外山	よつ葉
県立燕中等教育学校	2年	落合	知奈
県立燕中等教育学校	3年	松田	万葉



シンガポール市マーライオン公園にて。

私たちは、オーストラリアでの研修を終えて、シンガポールに行きました。シンガポールでは、市内の視察に加えて、3回目のPR活動と新潟県人会の方々との交流をすることができました。

市内視察では、アラブ人街、チャイナ・タウン、インド人街などを見学し、多民族国家のシンガポールの様子を知ることができました。また、ランドマークであるマーライオン公園を訪れ、記念撮影をしました。公園の周辺はとてもきれいに整備されており、近代的な高層ビル群を見ることができます。世界の流通の拠点であるシンガポールの発展を実感しました。

新潟県人会との交流では、シンガポールで働く新潟県出身の皆さんや知り合いの方々に、燕市のPR活動を行いました。オーストラリアでの英語の勉強の成果を見ていただこうと一生懸命頑張りました。県人会の皆さんは、私たちの説明にうなずいたり、メモをとったりして関心を示してくださいました。PR活動を終えた後は、とてもよかったと褒めていただきました。

それからは、お互いのことをさらに詳しく紹介し合って、とても楽しい時間を過ごしました。県内の学校のことや知っている場所のことなどを話したり、新潟県の将来について意見を交換したりしました。特に、海外から見た日本の産業について、現地の方の考えを聞いたことは、貴重な経験でした。この経験を、これからの燕市での生活や自分の将来に生かしたいです。

同じ新潟県出身の人たちが、お互いに支え合いながら海外で活躍されていることが分かり、とても心強かったです。これからも、自分の視野を広げていけるように頑張りたいです。



県人会の交流の様子。会話がとても楽しかったです。



会場の前で記念撮影をしました。

世界で最も住みやすい都市パース

分水小学校 6年 西海土 和花

私は、西オーストラリア州のパースで初めてホームステイをしました。パース市では、誰もが優しく接してくれました。



ホスト・ファミリーと行ったサーカスで。

ホスト・ファミリーは、まだ英語をうまく話せない私を受け入れてくれました。対面したときに、「ようこそ！」と書かれた歓迎のカードを見せてくれたことが心に残っています。

私は、ホスト・ファミリーのお子さんがバディ・ステューデントだったので、一緒に小学校に通いました。その小学校のチャイムを初めて聞いたときは、非常ベルの音ととてもよく似ていたので怖くなりました。

しかし、児童の皆さんはとても優しくかったです。いつも私たちに気配りをしてくれたので、友達がたくさんできました。正方形のコートで小さなボールを手で打ち合うハンドボールという新しい遊びも教えてもらいました。日本に帰ったら、自分の学校でもやってみたいと思いました。

学校では、主に日本語授業の中で、幼稚園児や小学校1，2年生の勉強の手伝いをしました。みんなが、予想よりも上手に日本語を話すことができたので、とても驚きました。語学の授業でしたが、先生は児童に折り紙をさせたり、納豆やおせんべいなどの日本の食べ物を食べさせたりしていました。日本の学校ではそのようなことをしないのですが、その国の文化や食生活を勉強するには、とてもよいことだと思いました。

週末は、ホスト・ファミリーと過ごしました。バディ・ステューデントは空手やチアリーディング、バスケットボールなどを習っていました。土曜日は練習を見に行きましたが、とてもレベルが高かったです。また、サーカスに連れて行ってもらいました。迫力あるパフォーマンスに驚きました。

日曜日には、コテスロー・ビーチという美しい浜辺に行きました。冬なのに泳いでいる人もいました。帰りにパース市内でお土産を買いました。買いすぎて、スーツケースに入らなくなりそうでした。

パース市は、世界で最も住みやすい都市と言われるだけあり、とても美しく、優しい人たちがたくさんいました。パースに行けたことが、本当に嬉しかったです。ありがとう、パース。

The world's most comfortable city to live in, Perth

Bunsui Elementary School 6th Grade Aika Saikachi

I went on a homestay visit to Perth in Western Australia for the first time. Many of the people I met there were very kind.

My host family accepted me even though I didn't speak English very well. When I first met them, I remember they wrote and showed a welcome board to me.

My group members and I stayed with our buddy students. All of them were also our host students, so we went to school with them. On the first day of school, I was scared by the sound of the bell because it was very similar to Japan's fire alarm.

The students of Aubin Grove Primary School were very sweet. Because they were so considerate, I made a lot of friends at school. They showed me how to play handball, which is played in a square court. Since returning to Japan, I have thought about and wanted to play it again.

At school, the goodwill ambassadors usually helped out with Japanese lessons for preschool, first grade, and second grade students. I was amazed to find out that the students could speak Japanese better than I had expected. The students made some origami, by coloring and pasting torn origami paper. One day, the teacher brought some Japanese food to class to show what is eaten in Japan. The students tried the food, and talked about their impressions. Some students said they liked natto. Others said they didn't like it. Back in Japan, we didn't have these kinds of lessons. But I thought it was good to learn about food eaten in foreign countries.

On the weekend, I went out with my host family. My buddy student does many sports, like karate, cheerleading, basketball, and so on. I saw her practice on Saturday, and I was surprised by her high-level physical activities. My host family also took me to the circus. I was impressed with the powerful performances.

On Sunday, I visited Cottesloe Beach. Some people swam in the winter ocean. I enjoyed shopping on our way home, too. I bought so many souvenirs that I was afraid I wouldn't be able to pack them all.

People say Perth is the most comfortable place to live in. I realized this was true because of its many kind people. I was very glad to go there. Thank you, Perth.



ホスト・ファミリーと見たサーカス



コッテスロー・ビーチの景色



真冬でもアイスクリームを
食べられるくらい暖かい日

ホスト・ファミリーとのたくさんの思い出

燕中学校 1年 高桑 舞

私は、8月17日の朝、不安と緊張で胸がいっぱいでした。しかし、翌日にホスト・ファミリーに会って、彼らの笑顔を見たときに、その気持ちは消えました。

私がオーストラリアとシンガポールで心に残ったことは2つあります。

1つ目は、私の誕生日をホスト・ファミリーに祝ってもらったことです。親戚も集まってくれて、みんなで中国料理のレストランへ行きました。それには、理由がありました。私の誕生日が、ホスト・マザーのお父さんと同じ日だったのです。食事会では、初めて会う人たちばかりで緊張しましたが、皆さんが私に日本のことをいろいろと質問してくれて、会話が弾みました。緊張も解けて、楽しい時間を過ごしました。

食事の最後に、バースデー・ケーキができました。歌を歌ってもらってから、お祖父さんと一緒にろうそくの火を消したときに、このように誕生日を祝ってもらえて本当に幸せだという実感がわきました。一生忘れられない思い出になりました。

2つ目は、燕市のPR活動です。オーストラリアの小学校で2回、シンガポールで1回行いました。日本での練習の成果を出せるように、精一杯頑張りました。1回目の発表で、少しつかえてしまい残念でした。

そのため、2回目の発表では完璧に読むことができるように、ホスト・シスターのLaelaに教えてもらったり、自分で原稿を読み返したりして練習しました。2回目は、すぐ目の前に聞く人たちがいたので緊張しましたが、堂々と発表することができました。

シンガポールでの3回目の発表では、慣れてきたこともあり、今までで一番良い発音ができたと思います。英語で披露した「ふるさと」も、日本で歌ったときよりも上手に歌うことができました。

この海外派遣では、ホスト・ファミリーがたくさん話しかけてくれたおかげで、自分の英語力を向上させることができました。私が分かるまで、何度も話しかけて繰り返してくれました。1回で分かったときは、とても嬉しかったです。彼らには、私がさらにレベルアップした姿を見てもらいたいです。そのために、これからも英語の勉強を頑張りたいです。



ホスト・ファミリーのお祖父さんとお祝いした誕生日。

Many memories with my host family

Tsubame Junior High School 1st Grade Mai Takakuwa

On August 17th, I was very anxious and nervous. But the next day, after meeting my host family, the feelings went away. Because when I met them for the first time, they smiled at me.

I have two special memories about Australia and Singapore.

The first one is of my host family celebrating my birthday. Their relatives joined us, and we ate Chinese food. Actually, they had a reason for coming that day. My host mother's father was born on the same day as me. At first, I was uneasy about meeting the party's guests. But they asked various questions about Japan and me. So I didn't feel nervous anymore, and enjoyed talking with them.

A birthday cake was served at the end of the party. The family sang the "Happy Birthday" song. Then, Grandfather and I blew out the candles together. I felt really happy to celebrate my birthday with my host family. It is one of the most unforgettable birthdays of my life.

The second memory is the proposal presentation about Tsubame City. We had to present twice in Australia and once in Singapore. I tried my best to show how much I had practiced in Japan. But regrettably, I wasn't able to read my part fluently at the first presentation.

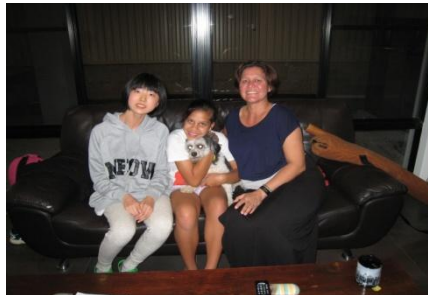
So I asked my host sister, Laela, to teach me how to pronounce the words and sentences in my part. I practiced my lines many times. When the goodwill ambassadors had the second presentation, I became nervous seeing the audience so close to me. But my reading skill got better.

In Singapore, we had the third presentation. I thought this was my best performance, since I already presented twice. We also could sing "My Hometown" in English better now than back when we were in Japan.

My English skills improved because my host family talked to me a lot. They repeated their words over and over until I understood them. I was happy when I could understand their English the first time. I hope I can continue to show my improvement to them. I want to keep studying English.



Aubin Grove Primary School
で友だちと記念撮影。



ホスト・ファミリー と一緒に。



授業に参加してグループ活動。

海外派遣で学んだこと

燕北中学校 3年 外山 よつ葉

私は、海外派遣で様々なことを学びました。最初の滞在地であるオーストラリアのパス市では、地元の小学校の授業に参加したり、ホームステイをしたりしました。その小学校では、日本語の授業がありました。英語圏の国で、日本語と英語の両方を聞きながら勉強するという体験ができました。

ある日、担当の先生は、日本の食べ物とオーストラリアの食べ物を比べてみるという授業をしました。私は、その授業で見たオーストラリアの食べ物にとっても驚きました。先生が作ってきた料理が、ご飯に牛乳とバター、砂糖を混ぜて焼いた「ライス・プディング」というものだったからです。私は、それを食べてみて、「意外においしいな」と思いましたが、他の親善大使の友だちはあまり好みの味とは言えないような様子でした。他にも、折り紙を折ったり切り絵をしたりして、楽しく勉強しました。

ホームステイもとても楽しかったです。ホスト・ファミリーは、私を笑顔で迎えてくれました。毎日、“How are you?” や “What’s up?” などと私に尋ねてくれて、とてもよいコミュニケーションがとれました。しかし、時にはお願いしたいことや質問したいことをどのように英語で言えばよいのか分からず、困ることもありました。そのようなときは、辞書やジェスチャー、自分の知っている限りの英語を駆使して、必死になって頑張りました。ホスト・ファミリーは、私の英語を聞いて“OK. OK.” と言ってくれました。そのときには、自分の英語が伝わったのだという喜びを感じました。お別れときには、つらくて涙が出ました。ホスト・ファミリーと過ごした日々を、私は忘れないでしょう。

次の訪問地であるシンガポールでは、市内の視察やPR活動をしました。視察では、有名なマライオンを見に行きました。また、アラブ人街、チャイナ・タウン、インド人街、イスラム教のモスク、ヒンズー教の寺院や仏教のお寺を見学しました。多民族、多言語の国らしく、それぞれの民族が形成したコミュニティーに、歴史と独特の雰囲気を感ずることができました。それらの人たちが共に生活するシンガポールに、気候と同じ熱気を感じ、とても新鮮な気持ちになりました。

3回行ったPR活動では、燕市の自然、歴史、特産品などを説明しました。自分の英語が伝わるかが心配でとても緊張しました。しかし、オーストラリアの小学生も、シンガポールの新潟県人会の皆さんも、うなずきながら温かく見守ってくれて、緊張が和らぎました。

12日間で、自分がとても成長できたと感じています。そして、2つの国の歴史、自然、文化などを学ぶことができて、とても有意義でした。この貴重な経験を忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。



バディ・ステューデントと校門で。

What I learned during the study tour

Tsubamekita Junior High School 3rd Grade Yotsuba Toyama

I learned various things during the study tour. At the first stop in Australia, I was able to take lessons at Aubin Grove Primary School. The school students were studying Japanese. So I got the chance to hear both English and Japanese in Australia.

One day, a teacher of the lessons brought some Japanese food and snacks to compare with Australian food. I was very surprised to see the food eaten in Australia. She showed us “rice pudding”, which is a rice dessert baked and mixed with sugar and butter. It tasted better than I thought. But the other Japanese students didn’t eat a lot of it. We also made some origami with the local students during Japanese lessons.

I had a good time with my host family. They welcomed me with smiles. We were able to communicate well because they asked me “How are you?” or “What’s up?” every day. But I sometimes became stressed about how to explain my hopes and questions. So I needed to use gestures, my dictionary, and all the vocabulary I knew to express myself. They listened to me and said, “OK, OK”. I was very glad when they could understand me. It was so hard to say good-bye to them that I cried on the last day in Australia. I won’t forget those days I stayed with them.

The second stop was Singapore. The ambassadors saw many famous places for study. For example, we went to Merlion Park, Arab Street and Sultan Mosque, Chinatown, Sri Mariamman Temple, Buddha Tooth Relic Temple and Museum, Indian Street, and so on. I realized that Singapore has many races and languages. I could feel each community’s unique atmosphere and history. While I was there, I was impressed by the people’s zeal, which was as hot as the country’s weather.

While in Australia and Singapore, we did a presentation about Tsubame City three times, explaining about its nature, history, industries, and so on. Both the elementary school students and the members of Niigatakenjinkai Singapore kindly nodded to and watched our presentations. So, we didn’t feel nervous.

During the twelve days, I felt myself change for the better because of what I learned about each country’s history, nature, culture, and so on. I hope I can use these experiences in my everyday life.



キングス・パークでホスト・ファミリーと。



ホスト・ファーザーの会社の展示会で。



動物園でカンガルーに餌やり体験。

Time is money.

吉田中学校 2年 田中 凜歩

私が英語に興味をもったのは、小学校2年生の頃でした。その頃から、「いつか絶対に海外に行きたい」というのが夢でした。それから6年後に、その夢がかなうことになり、とても嬉しかったのと同時に、不安な気持ちになりました。

オーストラリアに到着して、建物や食事、周りの人たちの様子に圧倒され、緊張で胸が張り裂けそうになりました。そんな状態だったので、ホスト・ファミリーとは「必要最低限のことしか話さないようにしよう」と思っていました。そのとき、日本の家族から1通のメールが届きました。そこには、「楽しみなさい」という一言がありました。家族は、「耐えなさい」ではなく、「あなたができることを精一杯やりなさい」ということを私に伝えようとしたのではないかと思います。

このメールを読んで、私は積極的にホスト・ファミリーに話しかけようと心掛けました。ホスト・ファミリーはとても親切で、私のつたない英語を理解しようとしてくれました。このような交流を通して、私は「英語って楽しい」「海外派遣に参加してよかった」と思いました。

オーストラリアでの経験は、何もかもが初めてのことばかりでした。私が目を大きくして感動する様子を見せるたびに、ホスト・ファミリーが隣で微笑んでいてくれました。本当に温かくて優しい人たちでした。

あっという間にお別れの日がやってきました。長いような、短いような1週間でしたが、思い返すと楽しいことばかりでした。休日には、動物園や買い物など、色々な所へ連れて行ってもらいました。

しかし、私は彼らに感謝の気持ちを十分に伝えることができませんでした。もっと感謝したいのに、もっと伝えたいことがあるのに、“Thank you.”としか言えませんでした。私は、とても悔しい気持ちになりました。もっと英語を勉強していれば、少しでも気持ちを伝えることができるのにという切なさ、別れのつらさで涙が溢れました。

私は、この海外派遣事業で学んだことがあります。それは、1分でも1秒でも無駄にしないということです。私は、自分の気持ちや考えを英語で伝えるのに、とても時間がかかりました。しかし、伝われば、そこからとても楽しくなります。“Time is money.” 貴重な時間を大切にしたいです。

最後に、この機会を与えてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



バディ・ステューデントと学校の教室で。

Time is money.

Yoshida Junior High School 2nd Grade Riho Tanaka

I became interested in English when I was a second grade student in elementary school. I had dreamed about visiting a foreign country ever since then. Six years later, this dream was coming true. I felt very happy yet also uneasy.

Arriving in Australia, I was really nervous when I looked around me – the views, the people, the food, and so on. So I decided to talk with my host family about basic things that I should know. But then, I received a mail from my family. They said that I should just enjoy life in Australia. I felt that they were trying to tell me to be strong but also flexible, and do the best that I could.

The mail changed my outlook. I tried to talk with my host family. And they were kind enough to try to understand my poor English. I came to think that speaking English was interesting, and I was happy to be taking part in the study tour.

Everything I experienced in Australia was very new to me. And when my host family saw me smiling next to them, they always smiled back. They were really caring and thoughtful.

The final day came quickly. In a sense, the week was both long and short. I only remembered the happy memories during the week. For example, during the holiday, my host family took me to a zoo, shops, and so on.

I was sorry that I couldn't clearly express my gratitude to them. Even though there were many things I wanted to tell them, all I could say was "thank you". I couldn't help but shed tears because I knew I could have expressed my feelings better if I had studied English more. Plus, it was hard to say good-bye to them.

What I learned through the study tour is not to waste time. It takes time to express my feelings and thoughts in English. But it is really fun when I can make myself be understood in English. People say that "Time is money." I keep this saying in mind.

I really appreciate all the people who have given me this opportunity. Thank you very much.



ホスト・シスターたちと一緒に。



初めてカガールに触りました。



シンガポールのマライオン公園で給水？

異文化ってすごい！

吉田中学校 3年 児玉 大河

僕が海外に行きたいと思った理由は、2つありました。1つ目は、英語が好きなので、自分の英語力を試してみたいと思ったからです。2つ目は、昔から英語圏の国にとっても興味があり、外国の食事、生活、文化など、日本との違いを実際に見たかったからです。

英語スピーチコンテストから2カ月後の出発まで、9回の事前研修がありました。

出発当日も、英語をきちんと話することができるかという不安や、長い期間の派遣だというような心配はなく、出発するのが楽しみでした。羽田空港からシンガポールのチャンギ国際空港で乗り換えて、オーストラリアのパース国際空港に向かう間も、到着までの残り時間が少なくなるほど、期待と楽しみが増すばかりでした。

オーストラリアのホームステイが始まりました。初日は、家族間のルールや彼らの話す英語が理解できませんでした。しかし、後で振り返ると、答えられることばかりを質問されていたのだと思いました。一緒に過ごす時間が増えると、ホスト・ファミリーと打ち解けることができ、自分から英語で話しかけられるようになりました。1週間のホームステイでしたが、とてもいい経験ができました。

この海外派遣で最もよい思い出になったことは、地元の小学校での時間です。小学生なので、僕よりも年下なのですが、みんなが積極的に”Hi, Taiga.”と話しかけてくれました。僕は、英語に自信がなかったので、学校では自分から話すのは不安でした。しかし、みんなが声をかけて誘ってくれたので、休み時間にはサッカーを一緒にしたりして、とても楽しかったです。

学校の授業や時間表は、日本のそれとは全く違っていました。児童が挙手してもよい場面では、先生が話していても、自由に手を挙げて発言していました。先生方も黒板にいろいろ書かずに、コンピュータの画面を見せたり教室内を歩き回って説明したりしていました。教室内には、天井に写真が貼られていたり、飾りや作品がひもでつるされたりして、日本の教室とはかなり違う雰囲気の中で勉強しました。

今回の経験は、どれもとても貴重でした。また、パースに行きたいです。そして、ホスト・ファミリーに会いたいです。



バディ・ステューデントと自宅の前で。

Different cultures are awesome!

Yoshida Junior High School 3rd Grade Taiga Kodama

I had two reasons for why I wanted to go abroad. The first was that I wanted to practice English because I like English. The second was that I was interested in English-speaking countries. I wanted to see and learn about different food, lifestyles, and cultures compared to Japan's.

Before the ambassadors went to Australia, we had nine workshops from July to August. I was excited to visit there, so I wasn't worried about my English or about leaving my homeland on the departure day. And the shorter the distance became while flying from Tokyo International Airport to Singapore Changi Airport, the more my expectation and excitement grew to reach Perth.

I began my home stay in Australia. When my host family first talked about their routines and rules, I couldn't understand what they were saying. But later on, I noticed that I could answer all of their questions. The longer I stayed with them, the more I became closer to and could speak English with them. I spent only one week with my host family, but it was a very good experience for me.

My best memory of the study tour was the time spent at the local school. The students were in elementary school and younger than I. They all said, "Hi, Taiga." I was afraid that my English wasn't good enough, so I didn't reply back. But they still invited me to play with them, so we enjoyed playing soccer during recess.

The classes and timetables were completely different from Japanese schools. The students often raised their hands freely even while their teachers were explaining. The teachers didn't write a lot on the boards but used computers instead, and walked around the classrooms often. Each classroom had many pictures, decoration, and schoolwork on the walls and ceiling. The atmosphere was very different from my classrooms in Japan.

For me, this was a precious experience. I want to go to Perth to see my host family again.



地元の小学生と教室で。



ホストファミリーと食事。



食事の量が多かった。

海外派遣で得た経験

吉田中学校 3年 瀧澤 朋香

オーストラリアとシンガポールの自然、文化、景色などは初めてのものばかりで、毎日がとても新鮮でした。それらは、私に多くのことを与えてくれました。

私にとって海外へ行くことは初めてであったため、最初は不安と緊張でいっぱいでした。

しかし、1回目の視察で、オーストラリアでの初日に見たパースの街並みや景色がとても美しく、すぐにパースを好きになりました。そして、心優しいホスト・ファミリーや明るく元気な現地の小学生との交流を通して、毎日が楽しく充実していました。

ホームステイで一番思い出になったことは、週末にホスト・ファミリーとボートに乗って、ペンギン・アイランドに行ったことです。ボートに乗る前に、子どもたちだけでビーチで遊びました。みんなで砂を掘って遊んだときは、とても楽しかったです。ボートに乗ったときは、野生のイルカやアザラシ、ペリカンなどを見ることができました。これまでに野生のイルカを見たのは1頭だけだったので、6頭ものイルカが群れをなして泳いでいるのを見たときは、とても驚きました。その日はとても幸せな気持ちで過ごすことができ、素晴らしい1日になりました。

2回目の視察では、オーストラリアの先住民族の文化を学びました。ブーメランや絵画に描かれている模様や線、色などには意味があることや、ダンスや演奏できる楽器に男女の違いがあることなどが分かりました。

1週間のホームステイを終えて、ホスト・ファミリーとのお別れの日を迎えました。不安や大変なこともありましたが、楽しかったことの方がはるかに多かったです。ホスト・ファミリーには、感謝の気持ちでいっぱいでした。

シンガポールでは、有名なマーライオンに加えて、仏教寺院やヒンズー教寺院、イスラム教のモスクなどを見ることができました。人種も民族も言語も本当に様々で、文化や生活の多様性を実感しました。

訪問した2つの国で、私は自分の目標を達成することができました。それは、積極的に現地の人たちと交流して英語力を向上させることと、燕市のPR活動を成功させることでした。また、現地の文化、歴史などについてたくさん学び、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。今回の経験を決して忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。



ホスト・ファミリーと訪れたビーチで。

The experiences I had in the study tour

Yoshida Junior High School 3rd Grade Tomoka Takizawa

For me, this was the first time to see the nature, culture, and views of Australia and Singapore. Everything was brand new to me. So I learned a lot while I was there.

This study tour was my first opportunity to go abroad. So I was really anxious and nervous.

But after seeing Perth's beautiful scenery on my first excursion in Australia, I came to like Perth. I had a good and fulfilling time with my kind host family and the active elementary school students.

My favorite memory was of visiting a penguin island by boat with my host family on the weekend. Before we rode the boat, we played on the beach. We enjoyed digging holes. We were very lucky because there were wild dolphins, seals, and pelicans around us. I was amazed to see ~~the~~ six wild dolphins together. I had only ever seen one wild dolphin, so I was very happy. It was a wonderful day.

I learned about the indigenous people and their culture. A famous artist taught us that all lines, colors, and patterns on boomerangs and pictures tell stories and information. We also learned about native dances and musical instruments that either men or women could play and do.

One week later, I had to say good-bye to my host family. There were many more enjoyable than tough moments. So my heart was filled with only appreciation.

In Singapore, we visited Merlion Park, Arab Street and Sultan Mosque, Chinatown, Sri Mariamman Temple, Buddha Tooth Relic Temple and Museum, Indian Street, and so on. I came to understand Singapore's diversity through the many races and spoken languages.

Because of both countries, I was able to reach my goals, which were to improve my English through cultural exchange and to successfully do a presentation about Tsubame City. I had a wonderful time studying about local cultures, histories and so on. I will never forget these experiences and will use them to lead a fuller life.



ペンギン・アイランドへの船中で キングス・パークから見たパース市 日本語授業で5年生と発表

新たな「出逢い」

吉田中学校 3年 三部 優哉

私にとって、今回の海外派遣では新たな「出逢い」がたくさんありました。

オーストラリア に到着した日は、キングスパークやフリーマントルなど有名な観光地を訪れ、オーストラリアの雰囲気を感じることができました。

Aubin Grove Primary School に到着し、ホスト・ファミリーと対面しました。私のホスト・ファミリーは とても親切で明るく、良い人たちでした。ホスト・ファーザーの Stuart さんはとても面白い人で、いつも私のことを気にかけてくれました。ホスト・マザーの Joanne さんは、毎日美味しいご飯を作り、笑顔で接してくださいました。バディ・ステューデントの Marcus は、とてもフレンドリーで、一緒に遊んだりするなど楽しく過ごすことができました。ホスト・ブラザーの Cameron も面白い人で、日本にとっても興味をもっていました。

彼らと過ごした1週間は、本当にあっという間に過ぎました。特に心に残っていることは、日曜日に郊外のコフヌ・コアラパークに行ったことです。そこでは、様々な動物と新しい「出逢い」がありました。オーストラリアにしか生息していない動物との触れ合いは、とても新鮮でした。そこでは、コアラを抱っこすることができました。コアラはとても温もりがあり、可愛かったです。オーストラリアの魅力である生態系に触れることができた思い出に残る1日でした。

お別れの日の朝、ホスト・ファミリーと過ごした1週間のことを思い出して、これから帰国しなければならないという思いと、まだオーストラリアにいたいという気持ちが強くなり、泣いてしまいました。その時、Marcus が “Let’s smile!” と言ってくれたので、最後は笑顔でお別れすることができました。

私たちはシンガポールを訪れ、市内を視察し、燕市のPR活動を行いました。特に、新潟県人会の方々へのPR活動では、今までで一番良い発表ができました。

私は、この派遣で、日本を改めて見つめ直すことができました。日本の課題をしっかりと考え、解決に向かって努力していきます。最後に、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



オーストラリア最後の日にホスト・ファミリーと一緒に。

New meetings

Yoshida Junior High School 3rd Grade Yuya Minabe

I met a lot of new people during the study tour.

After arriving in Australia, I visited some famous tourist attractions – like Kings Park, Fremantle, and so on – to enjoy the atmosphere.

I met my host family at Aubin Grove Primary School. They were very kind and cheerful. My host father, Stuart, was a very cheerful man and always took care of me. My host mother, Joanne, was very interesting, and she worried about me all the time. She made me delicious meals every day and was always smiling. My buddy student, Marcus, was very friendly. He played with me a lot. His brother, Cameron, was funny and interested in Japan.

The time I stayed with them passed so quickly. I especially remember the day I went to Cohunu Koala Park. I saw many animals. It was a new experience for me to see Australia's indigenous species. I got to hold a koala, which was warm and cute. I saw many attractive native animals of Australia.

I cry when I think about the days with my host family. It was hard for me to leave Australia and return to Japan. I really wanted to stay there. But Marcus said to me, "Let's smile." So I said farewell to him with a smile.

We visited Singapore for a tour and one more presentation. We did our best presentation for the members of Niigatakenjinkai.

The study tour made me contemplate about my homeland. I will make an effort to find solutions to Japan's problems. I appreciate everyone involved with this study tour. Thank you very much.



コアラを抱っこできました。



ホスト・ファミリーと一緒に。



休憩時間は質問攻め。

異文化理解

県立燕中等教育学校 1年 阿部 詩央里

私は、この研修に参加することが決定したとき不安しかなく、日本を出国する当日も不安と緊張でいっぱいでした。

しかし、オーストラリアに着いたときには、不思議と楽しみでなりませんでした。

初めてホスト・ファミリーと対面したときは、急に緊張してしまいましたが、楽しいという気持ちも最高潮に達していました。

オーストラリアには、一軒家なのにまるで小さな公園のような素敵なお庭がある家がたくさんありました。私のホスト・ファミリーの家は、家の中では靴を脱ぐというきまりがありましたが、靴をはいたまま生活する家庭もあるそうです。食事日本とは大きく異なります。朝食は、シリアルやパンなど簡単に済むものが多いです。昼食はサンドウィッチで、チーズやハムなどの日本でもよく食べられるものを使っていました。しかし、パンの種類がとても豊富で、ホスト・ファミリーの家には様々な種類のパンがありました。夕食は、簡単なものが多いそうですが、私の家では主にご飯が多かったです。ホスト・マザーがマレーシア出身で、マレー料理を作ってくれました。日本のご飯と異なる点は、お米の固さです。日本と比較すると、お米が少し固い気がしました。

現地の小学校では、「リセス」という休憩時間に昼食を食べました。オーストラリアで食べたものは、どれも美味しかったです。友達がたくさんできて、食事を一緒に食べたり、休み時間に皆でフットボールをしたり話をしたりしました。日本の話をとても真剣に聞いてくれて嬉しかったです。授業は、理解するのが少し大変でしたが、日本で学習していることと同じようなこともありました。

オーストラリアを去る日は、ホスト・ファミリー、バディ・ステューデントをはじめとして、学校で仲良くなった友達との別れが悲しくて、涙が出そうでした。

シンガポールは、真冬のオーストラリアから一変して、サウナの様に暑い気候でした。

今回の研修に参加できて、心から感謝しています。貴重な経験ばかりで、全てが私の宝物です。滞在中は、異なる文化や習慣に戸惑うこともありましたが、それを受け入れて尊重していくということが大切なのだと実感しました。この研修をきっかけにして、今までよりも海外への関心がさらに高まりました。これからも色々なことに挑戦して視野を広げて、異文化理解に努めていけたらよいと思っています。



バディ・ステューデントと一緒に記念撮影。

Understanding different cultures

Tsubame Secondary School 1st Grade Shiori Abe

I felt nothing but anxiety when I became a goodwill ambassador. I felt tense and uneasy on the day of departure.

But I got excited when I arrived in Australia.

When I met my host family, I became nervous again – but also really eager, too.

There were many homes that had nice gardens – just like a park – in Australia. My host family took off their shoes at home. However, they said that some people don't take them off.

The meals were very different from Japan's. My host family usually had a simple breakfast. In the morning, they ate cereal, bread, and ham-and-cheese sandwiches. My host family had various kinds of bread at home. Dinner was often simple, too. Actually, my host family ate rice at night. My host mother was from Malaysia. So she cooked some Malay dishes for me. The rice I ate had a different quality to it. I thought that it was a little tougher than Japanese rice.

The elementary school students ate lunch during “recess”, or lunch break. All the food I ate in Australia was very delicious. I also made a lot of friends. We played football and chatted. I was glad that they listened seriously to my explanations about Japan. The elementary school classes were a little difficult for me to understand. But some of them were similar to Japan's.

When it was time to say good-bye to my host family, buddy student, and friends, I almost cried because it was too hard to leave them.

In Singapore, it was as hot as a sauna. The weather in Singapore was completely different from Australia.

I really appreciate that I could take part in the study tour. Everything that I have experienced is a precious treasure. While I was on the trip, I was sometimes confused with the differences between each country's cultures and customs. But I realized that it is necessary to accept these differences and respect them. I became more interested in foreign countries. I will try many things to expand my point of view and understand different cultures.



ホスト・ファミリーの家の近くの公園。散歩中のホスト・シスターと公園で。5年生の日本語授業で発表。

2つの国でできた友達

県立燕中等教育学校 2年 落合 知奈

私は、今回の海外派遣で新しい友だちを作ることができました。オーストラリアでは、バディ・ステューデントだけでなく、その友達とも親しくなることができました。

現地の小学校の先生方や児童の皆さんは、私たちにとっても優しく接してくれたので、たくさんの友達を作ることができました。学年を問わず親善大使に話しかけてくれたので、私にはそれがとても嬉しかったです。

日本語の授業を手伝っているときも、たくさん質問をされました。折り紙の折り方を聞いたり、自分たちが描いた絵を説明してくれたりして、楽しく一緒に勉強することができました。

低学年の児童には積極的に話しかけることができましたが、高学年の児童にはあまり話しかけることができませんでした。それは、話す速さや単語の難しさが違っていたからです。私は、難しい会話を避けていたように思います。

しかし、6年生の授業に参加して、会話を続けられずに困っていたら、ある女の子が簡単な英語で話してくれました。また、5年生の日本語の授業で、先生が親善大使にインタビューするという課題を出しました。私が、相手の質問の意味が分からなかったときに、簡単な英語で言い換えてくれて助かりました。そのような気遣いが、とても嬉しかったです。

シンガポールでは、新潟県人会との交流で、Anri という女の子と出会いました。彼女は、中国語と英語を話すことができました。そして、日本語を勉強していると言いました。最初は、お互いに言いたいことをうまく言えずに会話が続きませんでした。が、だんだん簡単な英語と日本語を混ぜて話すことができました。会話の内容も簡単なことだったのですが、とても楽しく話すことができました。

出発する前は不安でいっぱいでしたが、話してみると、みんなが優しく接してくれて、とても嬉しかったです。2つの国でできた友達を、これからも大切にしていきたいです。



バディ・ステューデントやその友達と学校で一緒に。

The friends I made in both countries

Tsubame Secondary School 2nd Grade Tomona Ochiai

I was able to make new friends during the study tour. They were not only my buddy students but also my friends.

At the local elementary school, the teachers and students were very kind to the goodwill ambassadors. So we made a lot of friends. I was glad they talked to us despite the different grade levels.

When we helped out in their Japanese lessons, the students asked us many questions. We taught them how to make origami, and the students explained their pictures to us. Everyone enjoyed studying together.

I was able to talk with younger students but not to older students, who spoke fast and used difficult words. I avoided chatting with the older students.

But during a sixth grade Japanese lesson, an easygoing girl helped me when I had trouble holding a conversation. As a task, the teacher had asked her students to interview the goodwill ambassadors. When I couldn't understand some questions, inquiring students would ask again in simple English. I was happy to learn of their thoughtfulness.

In Singapore, I met a girl named Anri during the presentation for Niigatakenjinkai. She spoke both Chinese and English. She said that she had also studied Japanese. At first, we couldn't hold a conversation for long because we didn't know how to express ourselves well to each other. So we began to use easy English and Japanese. Our conversation wasn't so difficult then. It was fun for us to talk together.

I was very nervous before I left Japan. But after talking with so many people, I came to realize their compassion. I hope they will stay my good friends.



オーストラリアの友達。



ホスト・ファミリーとの対面。



国語（＝英語）の授業の討論。

海外での特別な夏休み

県立燕中等教育学校 3年 小林 怜佳

オーストラリアとシンガポールで過ごした12日間は、日本ではできないことや感じることをできないことがたくさんあって、貴重な日々となりました。

オーストラリアでは、日本との違いを多く見付けました。例えば、西オーストラリアのパース市では、冬でも日がさすととても暖かかったです。新潟と違って、春のようだと思います。パース市は西オーストラリア州の州都で、最大の都市です。しかし、スワンリバーやキングスパークなど豊かな自然があり、美しい街でした。

ホスト・ファミリーには、現地の小学校で対面しました。小学校に向かうバスの中では、上手く英語を話すことができるかという不安と、どのような家族なのかという期待でドキドキしました。教室に行くと、ホスト・ファミリーが笑顔で迎えてくれました。家に連れて行ってもらい、中に入るときに、彼らが靴を脱いだことに驚きました。外国では、家でも靴を履いたまま過ごすものだと思っていたので、意外でした。初日は、夕食でも彼らの会話を聞き取ることができなかったり、理解できなかったりしたことが多くあったので大変でした。しかし、少しずつオーストラリアのことを知ったり、日本のことを教えられたりしたのでよかったです。

現地の小学校では、バディ・ステューデントとその友だちが休み時間に誘いにきてくれました。大勢で外に出て、円になって昼食を食べたり、バスケットボールやフットボール、ダンスなどをしたりして楽しかったです。

週末には、ホスト・ファミリーがフリーマントルや「メイズ」という遊園地のようなところに連れて行ってくれました。ミニゴルフや迷路をして遊んだので、楽しかったです。素敵な思い出がたくさんできました。

オーストラリアを出発する日に、ホスト・ファミリーやバディ・ステューデントのみんなとお別れすることは、とても悲しかったです。しかし、「また来れば会えるよ」と言われて、元気が出ました。私を受け入れてくれた現地の皆さん、本当にありがとうございました。

シンガポールでは、視察とPR活動を行いました。視察では、たくさんの場所を見学しましたが、やはりマーライオンが一番印象に残っています。口から水を勢いよく出して、迫力がありました。PR活動は、新潟県人会との交流の中で見ていただきました。大人の前での発表なので緊張しましたが、上手くできたと思います。

海外派遣に参加して、自分の英語力はまだ足りないことがたくさんあると実感しました。もっと海外で英語を勉強して、文化や生活を知りたいです。最後に、この機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。



「メイズ」の前で友だちと記念撮影。

A special summer vacation in foreign countries

Tsubame Secondary School 3rd Grade Reika Kobayashi

During the twelve days in Australia and Singapore, I had many experiences that I couldn't have in Japan. The days were precious to me.

I found a lot of differences between Japan and Australia. For example, it was very warm and sunny in Perth even though it was actually winter there. The weather was more like Niigata's spring than winter. Perth is not only the capital but also the biggest city in Western Australia. There was plenty of beautiful nature, like Swan River, Kings Park, and so on.

My host family came to the local elementary school to meet me. I felt uneasy, wondering if I could speak English well or what they would be like. When I entered a classroom, my host family greeted me with smiles. Then they took me home. I was surprised to learn that they took off their shoes when entering their house. I didn't know that foreign people also took off their shoes at home. On the first day, I couldn't understand most of what my host family talked about during dinnertime. But it was still fun to slowly learn about Australia and tell them about Japan.

My buddy student and her friends visited me during recess. We made a big circle and ate lunch together. We also enjoyed dancing, and playing basketball and football.

I went out with my host family on the weekend, and we visited Fremantle and a park called "The Maze". I played golf and walked in the maze. I made a lot of good memories there.

I was very sad to leave Australia, and to say good-bye to my host family, buddy student, and her friends. They said we could meet again, which made me feel better. I appreciate them for accepting me.

In Singapore, we had a tour and presentation. We visited various places in Singapore, but Merlion Park was the most impressive. It was amazing to see water flowing strongly from its mouths. At night, the members of Niigatakenjinkai watched our presentation. I was nervous to show our presentation to adults, but all the ambassadors did well.

I have realized that I need to study English more. I want to study English in foreign countries, and learn more about their cultures and lifestyles. Thank you very much for giving me this opportunity.



The Maze でミニゴルフ。 オーストラリアの友達と最後に記念撮影。 カパシム動物園でカンガルーに餌やり。

A lot of wonderful memories and experiences

県立燕中等教育学校 3年 長谷川 由

私は、今回の海外派遣でたくさんの思い出を作ることができました。

初めて海外に行くことになったので、英語が通じるか、ホスト・ファミリーと仲良くなれるか、とても不安でした。

オーストラリアに到着してから、パース市の視察を終えて、いよいよホスト・ファミリーと対面するときがきました。私は緊張していましたが、ホスト・ファミリーが温かく迎えてくれました。



ホスト・ファミリー全員と記念撮影。

学校では、休憩時間や昼食の時間にバディ・ステューデントやその友達と遊んだり、授業に参加させてもらったりしました。授業では、私が先生の話が分からずに困っていると、周りの児童の皆さんが分かりやすく教えてくれました。たくさんの人から話しかけてもらって嬉しかったです。

ホームステイは、私にとって素晴らしい経験になりました。ホスト・ファミリーは、私が理解できるように、ゆっくり話してくれました。ホスト・マザーが作ってくれた食事は、とてもおいしかったです。ある晩は、ホスト・ファーザーの職場の皆さんと一緒に、家の近くでたき火をしました。南半球の星空は、日本のそれとは違います。天気がよかったので、満天の星空を見ることができました。私は見ることはできませんでしたが、たまに流れ星も見えると聞きました。

休日には、買い物や動物園に連れて行ってくれました。特に思い出に残っているのは、パース動物園です。ゾウやライオンなどの日本でもおなじみの動物もいましたが、カンガルー、コアラ、エミューなどのオーストラリアの固有種の動物を間近で見ることができました。日本の動物園と違って、近付いたり目の前で見ることもできたりするので、とても迫力がありました。

1週間のオーストラリア滞在を終えて、シンガポールへ移動しました。シンガポールは、1年中常夏の国です。到着は夜でしたが、昼間の熱気が残っていて暑かったです。その日は夕食を食べて、ホテルに直行しました。翌日は、市内視察とPR活動を行いました。マーライオン公園を始めとして、アラブ人街やチャイナ・タウンなどを訪問しました。夕方からの新潟県人会との交流の中で、燕市のPR活動を行いました。成功させることができて良かったです。

この経験を生かして、これからさらに英語を勉強したいです。もう一度オーストラリアに行って、ホスト・ファミリーに会いたいです。I won't forget my stay in Australia and Singapore. Thank you.

A lot of wonderful memories and experiences

Tsubame Secondary School 3rd Grade Yu Hasegawa

I made a lot of memories during the study tour.

This was the first time for me to go abroad. So I was nervous about whether or not I could make myself be understood in English or get along with my host family.

After arriving in Australia and enjoying the tour in Perth, the goodwill ambassadors and I finally met our host families. I was nervous, but they warmly welcomed me.

I played with my buddy student and her friends, and took some lessons with them. Other students helped me to understand the teachers' explanations when I couldn't follow along. I was happy that many students talked to me.

My homestay was a wonderful memory. My host family spoke very slowly so that I could understand them. My host mother was a good cook, too. One night, we had a bonfire. My host father's co-workers joined us. The southern hemisphere looked different from what I usually saw in Japan. Because the weather was fine that night, I could see a lot of stars. My host family said that they could sometimes see shooting stars, but I couldn't see any then.

My host family took me shopping and to a zoo. I made good memories at Perth Zoo. There were popular animals like elephants, lions, and so on. I was able to stand near some native Australian animals, like kangaroos, emus, and koalas. The zoo was great compared to Japanese ones, because visitors could move closer to the animals.

We went to Singapore after a weeklong stay in Australia. In Singapore, it is summer all year round. We arrived there at night, but it was still hot. We headed straight to our hotel, eating dinner along the way. The next day, we had a tour and presentation. We visited Merlion Park, Arab Street, Chinatown, and so on. That night, I was glad that our presentation was a success at the meeting with Niigatakenjinkai members.

In thinking positively about my experiences, I want to learn English more. I hope I can go to Australia again to see my host family. I won't forget my stay in Australia and Singapore. Thank you.



パース動物園でホスト・シスターと一緒に。



パース市中心街で買い物。



授業でノートを見せてもらいました。

My host family

県立燕中等教育学校 3年 松田 万葉

私は、初めて海外に行きました。オーストラリアに到着する前は、食事や生活習慣、そして英語が通じるかどうかなどの不安を感じていました。

しかし、オーストラリアでの日々は、私の想像以上の驚きと楽しさの連続でした。

ホスト・ファミリーと対面したとき、彼らは全身で私を歓迎する気持ちを表現してくれました。バディ・ステューデントと通った小学校でも、家庭でも、家族、日本の学校生活、友達、燕市のことなどを、たくさん質問してくれました。日本や私に関心をもってくれていることが分かり、嬉しかったです。

ホスト・マザーは、私に毎朝”How are you?”と聞いてくれました。私は、初めは”I’m fine, thank you. And you?”と学校で教わったとおりに答えていました。しかし、数日後には、「うれしい」「寒い」「眠い」などの言葉を使って、少しずつコミュニケーションを上手にとることができるようになりました。

学校から帰ると、毎日のように近くの公園に連れて行ってもらいました。そこには、いつも数人の子どもたちがいました。私も仲良くなって、鬼ごっこを教えてもらいました。説明はすべて英語なので、理解することが難しかったです。しかし、子どもたちは表情やジェスチャーなどを交えながら、一生懸命説明してくれました。私は、自分の気持ちや情報を伝えるのは、言葉だけではないのだということに気付きました。一緒に遊びながら、同じことで笑ったり行動を共にしたりすることで、言葉の違いを超えて仲良くなれたように感じました。また、初めて会った人同士でも、すぐに打ち解けられるのは、オーストラリア人の素晴らしい点だと思いました。

私は、この海外派遣を通して、日本では気付かなかったことや知らなかったことを学ぶことができました。ホスト・ファミリーとの生活や、学校での授業、友だちとの触れ合いのひとつひとつが、私の人生の宝物です。

最後になりましたが、この海外派遣に関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



パース市の中心街でホスト・シスターと一緒に。

My host family

Tsubame Secondary School 3rd Grade Kazuha Matsuda

I went out of Japan to visit foreign countries for the first time. Before arriving in Australia, I worried about meals, customs, and my English.

But my days in Australia were more amazing and interesting than I had expected.

When I met my host family, they welcomed me and physically expressed their joy. At their home and at the local elementary school I attended, I was asked a lot of questions about my school life, friends, and hometown. I was glad to know that they were interested in Japan and me.

Every morning, my host mother asked me “How are you?” The first few days, as taught at my school, I just answered with “I’m fine, thank you. And you?” But after several days, I was able to answer with happy, cold, or sleepy. Little by little, I could communicate better.

After I came home every day, my host family took me to the park. There were some children. We became friends, and played tag together. I didn’t know how to play the game at first, because they told me the rules in only English. To help me understand, they tried hard to use gestures and facial expressions. I learned that the spoken language is not the only way to express feelings and information. I also learned that by playing, laughing, and doing things together, we could get over any language barriers. I thought Australians were wonderful, because they were always friendly to everyone.

Through this study tour, I experienced things that I didn’t know or didn’t notice before. Everything that I have done with my host family and friends is now my treasure.

I appreciate everyone involved with this study tour. Thank you very much.



ホスト・ファミリーたちと一緒に学校で



たくさんの友達ことができました



授業は結構難しかったです

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	西海土 和花
-----	--------------------------------	----	--------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① いろいろなことを話し、感じて、自分の視野を広げたいです。

目標② 英語力を上げることです。身振り手振りや感情、分かる単語などから、リスニングの能力を上げたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 視野を広げることができました。シンガポールで日本の商品を、海外の人に売りにむ方法などを聞き、とても勉強になりました。

目標②について 分かる単語から、文を作りました。通じたことが多かったの
で、英語を話す自信ができました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホームステイでは、初めは相手の言っていることが分からなくて、I don't know. をたくさん言ってしまいましたが、だんだんと、耳が慣れてきて、質問に答えられるようになりました。土日は、サーカスを見に行ったり、ショッピングをしたりして、楽しみました。私は、ホストファミリーのことが、大好きになりました。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英語の勉強です。次に、海外に行ききは、話せて当たり前というくらいに
なりたいです。テレビを英語字幕にしたり、家で英語をしゃべったり
して、勉強していきたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

ホストファミリーは、気を使ってくれているので、勇気を出して、たくさん話しましょう！
こんなにいい経験は、二度とないと思います！絶対話そうという気持ちが一番大切
です！挑戦してみてください！

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	高桑 舞
-----	--------------------------------	----	------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① ホストファミリーとたくさん話し、自分の英語力を向上させることです。

目標② パースとシンガポールの文化や歴史について積極的に学ぶことです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ホストファミリーに自分の家族のことや今日学校であったことを、たくさん話すことができました。

目標②について パースでアボリジニの文化について積極的に学ぶことができました。しかし、シンガポールであまり調べなかったため、今後くわしく調べたいです。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

13才の誕生日をホストファミリーから祝ってもらったことです。誕生日アプレゼントをもらったり、夕食に中国料理やケーキを食べたりしたことがうれしかったです。ホストマザーの父であるMickさんと誕生日が一緒にびくりました。親戚の皆さんに“Happy Birthday”の歌を歌ってもらったこともうれしかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

外国の方々の話す英語はとても早いので、その英語が聞き取れるようになりたいです。自分の言いたいことを英語で言えるように、これから勉強をしたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

リスニングのCDなどを行う前に聞いて、耳を慣らしておいた方がよいです。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	外山 よつ葉
-----	--------------------------------	----	--------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① 相手の話した英語に対して、応答できるようにすることです。

目標② 燕市の良さを現地の方たちに伝えることです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ジェスチャーを使って応答したり、辞書を使って自分の言いたい単語を調べて応答をしました。半分程度達成できたと思います。

目標②について PR活動のときに、現地の方が私たちの話していることを真剣に聞いてくれたことが印象に残りました。達成できたと思います。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

必死にジェスチャーや指さしで相手に伝えようとしていた私に、ホストファミリーが補助をしてくれたり、手伝ってくれたりしたことです。ホストファミリーと一緒に料理をしたことも思い出です。野菜と一緒に切ったりして楽しかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英語の勉強を頑張りたいです。まだまだ英語を聞き取ったり書く力が足りないということをこの海外派遣で学んだので、さらに力を付けていきたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

日本とは違う世界が言語も違う所に滞在しますが、楽しもう！何かあってもどうにかなる！と思うと不思議と緊張や不安がなくなります。同じ親善大使の人と友達になれます！楽しい思い出が作れます！！

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	田中 凜歩
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① 親善大使として、燕市の文化を伝え、オーストラリアで学んだ文化を生かし、努力したいです。

目標② 自分の今まで努力してきた成果をたれ、この活動を通してもっと英語力を高めたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について PR活動では、自分たちが今まで練習に練習を重ねた結果が出て満足しています。

目標②について 今回のホーリフティで自分はいまだ「努力が足りない」と感じました。それでも、1ヶ月の間でもオーストラリアで過ごして、身が慣れた感じはしました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

親善大使全員でチョコレートファクトリーに行ったことです。店に入った瞬間に大量のチョコレートの量に驚いたのを今でも覚えています。中には、チョコチップの試食があってアイスクリームが売られていました。とてもとてもおいしくて、チョコレート好きの私には最高の場所でした。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

今回のホーリフティが一番感じたのは、自分の英語力のなさです。もっともっと勉強して、次は1人で様々な国を観光してみたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

たぶん皆、最初は緊張で胸がいっぱいだと思います。でも大丈夫です。ホーリフティはみんなが親しくて優しいです。「自分は英語が苦手だから…」と思わず「といてあげる」話してみてください。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	恩王 大河
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① しっかりと燕市を PR します。

目標② 日本と外国の文化の違いを学んでいきます。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 学校、県人会のおなさんにしっかりと燕市の歴史・文化を伝えることができました。

目標②について ホストファミリーと学校の先生方のおかげで食べ物、生活などが大きく違うということが分かりました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

食べ物や、本場の英語など、日本では絶対にできないことを見て、食べて、感じてこれたことがとてもうれしかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

英語を勉強して外国へ行き、日本との違いを知るとともに、経験を生かしてグローバルなことができれば夢に就きたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

自分から積極的に現地の人々と話しかけていくといいと思います。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	龍澤 朋香
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① ホームステイ先や、現地の学校などでの熊市のPRを
たくさんして、より多くの人に熊市を知ってもらいたいです。

目標② 現地の人々との交流を大切にして、できるだけたくさん
英語を使い、自分の英語を上達させたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 全体でのPRはもういい、ホームステイ先でお土産を
渡すときも、熊市についての説明をしながら渡すことが
できました。

目標②について ほかほかうまく話せないこともありましたが、あまり
めずくにジョーカーなどを用いて話すことができました。日に日に英語力
も向上したと思います。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーとウの子どもの友達と一緒にビーチに行き、ボートに
乗ったことです。ペンギンやイルカというところを見ました。ボート
からは、野生のイルカやサザナシ、ペリカンなどを見ることが
できました。とても楽しかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

これから、英語の勉強は継続して行きたいです。今まで、
ALTの先生とはあまり話したことがありませんでした。これから
積極的に話しかけたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

上手に話せなくて、平気だと思うことがあってもいいですね。しかし、現地の
人たちはとても親切なので、理解しようとしてくれます。まちがえても
いらい話そうとするのは、大切だと思います。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	三部 優哉
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① 失敗を恐れずに、現地の方々と積極的に
コミュニケーションを取り、英語力を向上させます。

目標② 燕市のことについて他国の方々に十分理解して
頂けるよう、工夫してPR活動を行います。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 現地校やホストファミリーの皆さんと積極的に
話し、コミュニケーションをとることができました。
また、英語も上達しました。

目標②について 特別なことは特にしていませんが、
プレゼンテーションで強調したいところ(fun, top-notch など)を
大きな声で読んだりするなど、一生懸命伝えようと思いました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

最も思い出に残ったのは、日曜日にホストファミリーと Kohunu
Koala Park に行ったことです。特に、コアラを抱っこしたのが
印象に残っています。コアラを抱っこできたのは、本当に貴重な
経験だったと思います。また、世界一大きい鳥と二番目に大きい鳥を
見ました。私の身長を超える大きさでびっくりしました。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

現地の方々の話すスピードが速く、上手に聞き取れないことがあります。
話すことも大切ですが、聞くことも大切だと思ったので、
これからはリスニングもしっかりやっていたいと思います。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

① 夢は「実現させるもの」です。もし海外へ行きたい場合は、一生懸命勉強
するなど、努力を惜しまずに頑張ってください。

② 失敗を恐れず、たくさん話しかけてください。伝えようという気持ちの方が大切です。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	阿部 詩央里
-----	--------------------------------	----	--------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① 英語をたくさん話して、積極的にコミュニケーションをすることです。

恐れずに勇気を出して話したいです。

目標② 燕市の魅力を誇りを持って伝えることです。

いいところだと思ってもらえるように頑張りたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 初めは、正確に通じることが不安でなかなか話ができなかったけれど、少しづつたくさん話せるようになりしました。

目標②について 燕市のことを現地の方にたくさん知ってもらえることができました。また、日本を好きになってくれて嬉しかったです。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

オーストラリアでのホームステイと学校での生活です。国内で知らない人の家に滞在するだけでも大変ですが、それを海外で体験できただけでもとても貴重でした。受け入れをしてくれた学校では、いろいろな人と話して友達を作りました。どれもとても楽しくて、決して忘れられない思い出です。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

さらに、英語力を上げることです。日本はもちろん、燕市でも英語に触れるチャンスはたくさんあります。チャンスを生かして、日常生活でもっと英語を話せるようになりたいと思っています。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

リスニングをしっかりとしたいと思っています。速いスピードの英会話でも、きちんと内容を理解できるように準備があると良いと思っています。とっても楽しいです。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	落合 知奈
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① ホストファミリーと積極的にたくさん話して、仲良くなることです。

目標② 燕市のPRをしっかりとすること、それだけでなく、オーストラリアの人々の文化や暮らしをしっかりと学ぶことです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ホストファミリーとたくさん話すことができました。ホストファミリーだけでなく、学校の生徒、みんなと仲良くなることができました。

目標②について 100%の力を出すことはできませんでした。燕市のPRをしっかりとすることができました。ホームステイを通じて、オーストラリアの人々の文化や暮らしを学ぶことができました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーとドライブに行ったことです。ハンバーガーショップでハンバーガーを食べたり、夜景がきれいな場所に連れてってくれたり、その場所について、わかりやすく、ていねいに教えてくれたりしました。ホストファミリーと一緒に写真を撮ったりして、とても楽しかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

この12日間で上げた英語のレベルを生かして、英語の授業などでも学習の成果を積極的に出してみたいと思います。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

自分には無理だ、という思い入れをせずに、自分の英語の力を出せるように頑張れば良いと思います。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	小林 怜佳
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① ホストファミリーの方々と、現地で会った人と積極的に話したいです。上手に英語を話すことも大切だけど、黙らずに必ず何か答えることを意識したいと思います。

目標② 常に燕市の代表として来ているという自覚を持ち、現地の人にできるだけ燕市や日本の良さを伝えたいです。気持ちを込めたプレゼンテーションをしたり、礼儀正しくするのを心掛けたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について ホストファミリーや学校の生徒の話している事が聞き取れずに困った時もありましたが、たくさん会話をすることになりました。オーストラリアの事を色々学べたのが良かったです。

目標②について プレゼンテーションをするときは、ネイティブの人でも聞き取れるよう、ゆっくり話しました。フィスをしたときは、オーストラリアの児童が喜んでくれました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

Aubin Grove Primary Schoolで過ごした時間は、良い思い出になりました。オーストラリアの子供は優しく、人なつこかったです。おやつや昼食を大人数で食べて、たくさん話しました。休み時間には、フットボールやバスケットボール、ダンスをしたり、遊具で遊んだりして楽しかったです。活動中によく声をかけてくれたので、嬉しかったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

今回の派遣で、英語を上達させるには机に向かい勉強するだけでは足りないと分かりました。私は、ネイティブの英語をもっと聴きたいので、留学したいと思いました。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

海外の文化、言語、生活について知り、日本人だけじゃないという環境を変える良いチャンスです。海外へ行くと、世界の広さと自分の可能性を知ることが出来るので、行ってみてください。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	長谷川 由
-----	--------------------------------	----	-------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① 燕市のPR活動をしっかりと行うことです。燕市には良い所がたくさんあるので、現地の人にPRを聞いてもらい燕市のことを好きになってほしいです。

目標② 英語をたくさん話し、英語力を上げることです。現地の人とも仲良くなり、パース市やシンガポール市のことを学びたいです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 学校でたくさんPRすることができました。現地の子ともたちは真剣に私たちのPRを聞いてくれてうれしかったです。燕市の良さが伝えられたと思います。

目標②について ホストファミリーや学校の子ともたちと話すことができました。一度聞いただけでは理解することができなかったけれど、お願いするとゆっくり話してくれたのでうれしかったです。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーと動物園に行ったことが楽しかったです。そこでは、ゾウのショーが行われていて、実際にゾウが投げたボールを観客がキャッチする場面があり、とても迫力がありました。オーストラリアならではの動物も、真近で見ることができて良かったです。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

もっと多くの単語を学びたいと思いました。ホームステイ先で、単語が分からず困ってしまったことがあったので、きちんと会話ができるように単語を覚えたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

英語を伝えようと思う気持ちがあれば、それは必ず相手に伝わると思います。楽しいので、ぜひチャレンジしてみてください。

「目標と成果」

行き先	オーストラリア・パース市 シンガポール・シンガポール市	氏名	松田万葉
-----	--------------------------------	----	------

1 海外派遣事業に親善大使として参加するにあたり、目標を決めましょう。

目標① ホストファミリーや、その方々と積極的にコミュニケーションを取り、日常会話スキルを高めることです。現地で親しい人をつくることです。

目標② 現地の人たちと会話をし、今の自分の英語力を確かめ、向上させることです。苦手なリスニングやスピーキングの能力をまたえることです。

2 目標は達成できましたか？

目標①について 自分からコミュニケーションをとりに行くことができ、当初の目的をしっかりと果たすことができました。自分が伝えたいことをはっきりと伝えられて良かったです。

目標②について 学校や近所の公園では、子どもたちがたくさん話しかけてくれてうれしかったです。普段聞かない英語は難しかったけれど、慣れることができました。

3 最も思い出に残ったことを書いてください。

ホストファミリーがたくさん質問してくれたことです。私が「住んでいる地域や家族、学校のことなど」を聞いてくれて、彼らが私のことを知りたいと話しかけてくれていたことがあって、うれしく感じました。

4 これから頑張りたいことや挑戦してみたいことを書いてください。

この海外派遣で培った経験を生かして、次に外国へ行く機会があれば、もっとスムーズに会話をすすめられるようにしたいです。

5 海外派遣事業への参加を希望する人へのアドバイスを書いてください。

自分の考えを伝えるために必要なのは英語だけではありません。表情やジェスチャーを駆使してコミュニケーションを取ってみてください。

親善大使アンケート

派遣先	学年	性別
オーストラリア パース シンガポール	小学6年生1人 中学1年生2人 中学2年生2人 中学3年生7人	男 2人 女 10人

Q1 海外派遣はどうでしたか？

①良かった 12人 ②まあまあ良かった ③あまり良くなかった ④悪かった

●その理由は？（具体的に）

- ・ ホームステイがとても楽しかったです。初めての海外生活がホームステイだったことは、よい経験だと思いました。（3人）
- ・ 現地の小学校に通ったり、新潟県人会や日本自治体等連合会事務所の方々のお話を聞いたりしたからです。
- ・ 海外の文化などを学ぶとともに、自分の成長しなければならない部分などを知ることができるからです。
- ・ いろいろな意味で、自分の視野が広がりました。（2人）
- ・ 英語をたくさん勉強することができました。（2人）
- ・ 現地の方たちとの交流や生活、視察などを通して、そこでしかできないことを経験したり、その場所の文化や歴史を学んだりすることができました。
- ・ 初めてのことがとても多くて、何もかも新鮮に感じました。
- ・ 2つの国で新しい友達ことができました。言葉が違って仲良くなれて嬉しかったです。
- ・ 学校生活や観光がとても充実していました。

Q2 日程はどうでしたか？

①きつかった ②ややきつかった 3人 ③やや楽だった 9人 ④楽だった

●体調や精神面で特につらいと感じたときはありましたか？あれば具体的に書いてください。（飛行機、英語、食事、日程など）

- ・ 飛行機で酔いました。食事が多くて大変でした。（2人）
- ・ 飛行機の中で、耳や足が痛くなりました。（2人）
- ・ 食事が甘くて、カロリーがとても高そうでした。
- ・ 英語が通じないときは、とても落ち込みました。
- ・ 完璧な英語を話そうとして、逆に話すことが不安でした。しかし、だんだんオーストラリアの英語に慣れて、抵抗がなくなり会話を楽しむことができました。

Q3 期間はどうか？

①長かった ②やや長かった 1人 ③ちょうどいい 6人 ④やや短かった 2人
⑤短かった 3人

Q4 海外派遣の中で、良かった場所や活動は何ですか？「特に良かった」ことを◎に1つ、「良かった」ことを○に4つ以内で記入してください。また、「良くなかった」ことがあれば、△に3つ以内で記入してください。

◎「特に良かったこと」

- ・ ホームステイ（3人）
- ・ バディ・スチューデントとの交流（2人）

- ・ 現地の学校の授業（4人）
- ・ コテッスロー・ビーチ（2人）
- ・ ペンギン・アイランド（1人）

○「良かったこと」

- ・ 現地の学校の授業（5人）
- ・ 新潟県人会との交流（1人）
- ・ パース市視察（3人）
- ・ シンガポール市視察（3人）
- ・ PR活動（5人）
- ・ キングス・パーク訪問（2人）
- ・ マーライオン公園見学（3人）
- ・ カバジャム動物園見学（7人）
- ・ チョコレート工場（1人）
- ・ アボリジニ・アートや楽器演奏の体験学習（3人）
- ・ フリーマントル地区視察（4人）
- ・ ホームステイ（3人）
- ・ 週末の自由時間（2人）

△「良くなかったこと」

- ・ 飛行機での移動（2人）
- ・ 機内食（1人）



冬の朝日を浴びるパース市の中心街。



真冬でも青く澄んだインド洋の海岸と水平線。

Q5 ホームステイの期間はどうか？

①やや長かった 2人 ②ちょうどいい 5人 ③やや短かった 1人 ④短かった 4人

Q6 ホームステイで良かったことを書いてください。また、困ったことがあれば、具体的に書いてください。また、困ったことを解決するために自分がしたり、事前に準備したりしておくべきことを具体的に書いてください。

①良かったことは？

- ・ 週末に、ホスト・ファミリーがいろいろな所に連れて行ってくれたことです。（6人）
- ・ 燕市のパンフレットを渡したら、ホスト・ファミリーがとても興味をもってくれました。（3人）
- ・ ホスト・ファミリーがフィリピン系の家庭だったので、主食がお米でした。
- ・ いつでも英語を聞いたり話したりできたことです。
- ・ ホスト・ファミリーとたくさん話したり遊んだりしたことです。
- ・ みんながとても親切にしてくれました。
- ・ 相手が英語で言ったことを理解することができたときです。
- ・ ホスト・ファミリーは、私の話を真剣に聞いてくれました。
- ・ 日本とは異なる文化や生活を体験することができました。



②困ったことは？

- ・ 英語だと思って使った単語が通じませんでした。
- ・ ご飯の量が多かったことです。
- ・ 食事のときに遠慮してしまったことです。
- ・ 現地で車に酔ったことです。
- ・ お風呂やトイレが日本のものと違って戸惑いました。
- ・ 絶対に無理だと思われることを、強く勧められて断れなかった



ホスト・ファミリーとの対面では緊張しました。

ことです。

- ・ 話しかけられても答え方が分からず黙ってしまったり、意味が分からず行動が遅れてしまったりしたことがありました。
- ・ 意見を言うときに、どう言えば分かってもらえるか悩みました。

③自分のしたことや事前の準備は？

- ・ 単語やよく使う表現などの勉強をしました。
- ・ 持って行った写真やお土産の説明をできるように準備しました。(2人)
- ・ PR活動の英文を読む練習をしました。
- ・ ベッドメイキングを忘れないようにしました。
- ・ オーストラリアは冬だったので、厚手のパーカーやタイツを持って行きました。
- ・ 普段からよく話すことを、英語でどう言うのかを調べておくといいです。
- ・ ホスト・ファミリーの家族構成を踏まえてお土産を買いました。
- ・ 積極的にお手伝いをしました。自分の部屋にばかりいないで、いつもリビングにるようにしました。
- ・ 分からないことは、何度も聞きました。聞き取れなくても、あきらめないように努力しました。
- ・ 洗濯物をどうするかを聞く表現を調べておきました。
- ・ 必要なものや予定などを事前にホスト・ファミリーに聞いておきました。



スリ・マリマン寺院の門。

Q7 海外派遣で、とまどったことや不安に思ったこと、疑問に感じたことなどがあれば、具体的に書いてください。

- ・ 寝る時間がとても早かったことです。
- ・ 空港でスーツケースにたくさんのシールや札を付けられたので、それをどうしたらよいかわからなかったです。
- ・ 英語が通じませんでした。また、聞かれたことにどう答えればよいかわからなかったときがありました。(3人)
- ・ 強く勧められると断り方が分からずに困りました。
- ・ 学校の予定が急に変わることがあって戸惑いました。

Q8 海外派遣について意見や感想、要望などがあれば自由に書いてください。

- ・ もっとホームステイを長くしたかったです。(4人)
- ・ 視野が広がり、自分の将来について考える機会になりました。
- ・ 現金をあまりたくさん持って行っても、思っていたよりも使いませんでした。
- ・ とてもよい事業だと思います。対象を高校生以上にしてもよいと思います。
- ・ はじめは不安でしたが、生活してみるととても楽しかったです。
- ・ 違う国で違う言葉話す友達がたくさんできたことが嬉しかったです。

Q9 ホスト・ファミリーのお土産として、何を持っていきましたか。具体的に書いてください。

- ・ 和風のステッカー (5人)
- ・ 消しゴム (4人)
- ・ 扇子 (6人)
- ・ 折り紙 (8人)
- ・ 切り絵 (2人)
- ・ 紙風船 (3人)
- ・ 和紙のレターセット
- ・ 箸 (2人)
- ・ 箸置き
- ・ 筆記用具
- ・ うちわ (3人)
- ・ 手ぬぐい (3人)
- ・ ひらがな練習帳
- ・ 靴下 (2人)



シンガポール市のシンボルであるマライオンとビジネス街の高層ビル。

- ・ キャラクターグッズ（2人）
- ・ 風呂敷
- ・ コップ
- ・ こけし人形
- ・ 折り紙の本（英語の説明付き）（2人）
- ・ 竹とんぼ



多民族国家を象徴するシンガポール市内の案内表示。

Q10 文化紹介や燕市のPR活動のために、事前に準備しておいた方が良いことを具体的に書いてください。

- ・ 「つばめっ子かるた」のルールを英語で説明できるようにしておくといいです。
- ・ 現地に行ってからあまりPR活動の練習をすることができないかもしれないので、日本で十分に練習してください。（2人）
- ・ PR活動の英文の区切りに線を入れたり、単語のアクセントなどを書き込んでおいたりすると、スムーズに読むことができました。
- ・ 正しい発音で英語を話すことができるようにしておくことです。
- ・ 燕市について、PR活動の原稿にあること以外にも、もっとたくさんを知っておくといいです。（3人）
- ・ 折り紙は、どこの国でも気に入ってくれると思うので、持って行くといいです。
- ・ 燕市のパンフレットなどを多めに持って行くといいです。（2人）
- ・ 数字はとっさに英語で言えないことがあるので、英語で書いておくといいです。
- ・ よく使う単語や英文を暗記することです。

Q11 現地での英語のレッスンに備えて、事前に準備しておいた方が良いことを具体的に書いてください。

- ・ 相づちをうつときに使う言葉を覚えておくといいです。
- ・ たくさん質問されるので、自分や家族、燕市のことなどを答えられるようにしておくといいです。（2人）
- ・ 単語を覚えることです。
- ・ 電子辞書を持って行きました。（2人）
- ・ 話すスピードが速い。単語を聞き取ることができないときが多かったです。たくさん英語を聞いて、耳を慣らしておいてください。
- ・ 物語を書く授業で、なかなか書くことができませんでした。そのため、漫画を書きました。英語以外にもコミュニケーションをとる方法を身に付けておくといいです。
- ・ リスニングで早口英語に耳を慣らしておくことをお勧めします。（3人）
- ・ 現地の小学生が作った作品や見せてくれたものに対する感想などを伝える言葉や文を覚えておくといいです。
- ・ ノートやメモ帳は携帯しておくといいです。（2人）



パース市郊外のインド洋沿いのビーチで。海の広さと白い砂浜の美しさに感動しました。



シンガポール市にある昔のサルタン（イスラム教国の王様）の邸宅で。現在は博物館となっています。

シンガポールでは、新編県人会の方々と交流しました。哲さんが、新編に関する仕事をされていたり、新編とシンガポールの絆を深めようとしていたりしている様子が良く分かりました。共に新編県出身ですが、お互いの故郷のことを話合ったり、熱市のことを色々と質問してくださったりしました。



高中畢業 2 年 獨立知事

ホスト・ファミリーの皆さんはとても親切で、私たちが英語でうまく言えないことがあっても、理解しようとしてくれました。週末には一緒に外出して、仲良くなることができました。バディ・スチューデントの家庭でもあったので、学校でも家庭でもとても心強かったです。



高中肄業 3 年 小林 健二

8月18日頃にパース市を視察しました。市内中心部の歴史的建造物と近代的なビルが混在している中心街を散策したり、郊外のフリーマントル地区で世界遺産の旧フリーマントル刑務所を見学したりしました。パース市の歴史や文化をたくさん学ぶことができました。



吉田中学校3年 藤田 勇



パースの子どもたちとの異文化交流

シンガポール市内視察



8月21日曜の校外学習では、オーストラリアの先住民のアボリジニの伝統的な絵画や楽器について学習しました。ブーメランの絵を描くときには、筆の代わりに棒を使いましたが、楽しかったです。楽器の演奏体験もできて、よい思い出になりました。



富田中筆 3年 三國傳説

私たちが滞在した Aubin Grove 地区は、パース市の南にある自然が豊かな新興住宅地です。新しい家がたくさんあり、そのほとんどが平屋建てでした。小学校も平屋建てで、教室棟が広い敷地内に点在しています。気候が温帯で安全な所なので、散歩をするなどして景色の美しさを楽しみました。



高中肄業 3 年 長崎川由

8月19日(金)から1週間、Aubin Grove Primary Schoolで勉強しました。児童の皆さんは、授業態度がとても良く、私たちの話を一生懸命聞いてくれました。とても明るくて積極的で、毎日のように休み時間に遊びに誘ってくれました。先生方もとても優しく、突然授業に参加しても、丁寧に教えてくださいました。



高中肄業 1 年 阿爾及爾

シンガポール市内では、英語に加えて中国語やマレー語など、さまざまな言葉を耳にしました。日本ではなかなかできない体験だと思いました。アラブ人街、インド人街、中国人街などを見学して、独特の街並みを見学することもできて、民族と文化の多様性を実感しました。



高中肄業 3 年 松田万蔵

シンガポール

都市の約6分の1の面積に550万人ほどの人が住む都市国家。物産や金融などあらゆる分野のハブ（中心）を担うこの都市は、アジアの金融拠点とも呼ばれる。熱帯モンスーン気候に慣れ、赤道に近いため、1年を通じて通年、連日30度以上の高温（セントーを主とする島体（国体）が東南アジアからの観光や投資客を呼び込むことを目的に設立した組織の事務所がある。

シンガポール

ジャック アンド ベティ

Jack & Bettyプロジェクト海外派遣事業 3年目の舞台は「オーストラリア(パース)」 と「シンガポール」の2カ国！

私たちは、オーストラリアの Aubin Grove Primary School で熱市PR活動を2回行いました。1回目(8月19日)は、3～6年生約120人に発表しました。2回目(8月24日)は、6年生25人にクイズ形式で発表しました。緊張しましたが、皆さんが一生懸命に聞いてくれました。



分水小学校6年 西郷土和花

今年で3年目となるJack & Bettyプロジェクト。そのファイナルステージである英米リーナコンテストが6月20日に開催され、成績優秀賞に選ばれた小・中学生12人が、親善大使としてオーストラリアのパースおよびシンガポールに派遣されました。報告書は、8月17日～28日までの12日間、ホームステイをしながら異文化理解を進めるとともに、両国の特色について現地でもPRしてきました。

8月18日(土)にパース市庁舎を訪ねました。スカフィディ市長にはお目にかかれませんでした。が、国際交流事業担当の方に熱市からの親書と記念品をお渡しして、パース市についての説明を聞きました。熱市に関する質問を受けましたが、英語で答えることができて良かったです。



南中学校1年 高橋真

8月26日(木)、冬のオーストラリアから常夏のシンガポールに移動して、地球の大きさや気候、文化などの多様性を実感しました。8月27日(金)に、新編組入会の皆様に3回日のPR活動を行いました。たくさんの方が、熱市に関心をもって聞いてくださいました。



南北中学校3年 外山よつ葉

8月27日(金)、日本自治体等連合シンガポール事務所を訪ねて、アジア諸国と熱市の産業や日本のつながりを学ぶことができました。事務所の働きかけにより、外資の企業が熱市に視察に来たり、シンガポールで展示会などを通して熱市の製品をPRしたりしていることが分かり、とても良かったです。



富田中学校2年 田中遼歩

パース

オーストラリアの西岸、西オーストラリア州の州都。地中産性資源のこの街は、1年を通して温暖な気候、近代的なビルが立ち並ぶそばには、豊かにスワシ川が流れ、自然と調和したその景色は「世界で一番美しい」といわれることも、海外には古い歴史を持つ街があり、インド洋に面した約20キロにわたる白い砂のビーチも美しい。

8月21日(土)のオーストラリアでの校外学習では、カパシャム・ワイルドライフ・パークに行き、オーストラリアの固有種の動物をたくさん見ることができました。日本の動物園と違い、直接触れたり近付いたりすることができたので、不思議な生態や独特の模様、色などをじっくり観察しました。



富田中学校3年 栗玉大河



研修参加者報告

分水中学校 教諭 本間 彩

今年度の Jack & Betty プロジェクト海外派遣事業に研修教員として参加する機会をいただき、英語学習者と教員の両面の立場で、国内研修ではできない貴重な経験をすることができました。

英語学習者の立場からは、英語の発音、表現の違いです。これまで、アメリカ英語を主に学習をしてきたため、オーストラリア特有の発音とイギリス英語の表現が新鮮でした。

教員の立場からは、知識としての英語だけではなく、コミュニケーションの道具としての英語力と意欲的に伝えようとする姿勢を伸ばすことが目標です。語学学習の継続を支える動機となるのは、自分の気持ちや意見が相手に伝わったときの喜びだと思います。間違いを気にせずに、表情やジェスチャーなど様々な方法を用いて自分の意思を相手に伝えようとする姿勢や、分からないときには分からないと言う意思をはっきりと示すことができるように練習して、伝わった喜びを生徒が実感として得られるような授業をすることが今後の課題です。また、グローバル時代に対応する能力や姿勢を伸ばすべく、国際理解教育の充実が必要だと改めて実感しました。

今回共に過ごした 12 名の親善大使の皆さんの頑張りと積極的な姿勢は、私自身の励みとなりました。” Experience is the best teacher.” という言葉のとおり、経験からたくさんのことを学び成長したと思います。次世代を担う国際人として立派に成長することを期待しています。



現地の小学校の日本語授業を参観。



オーストラリア先住民の絵画についての体験学習。

引率者報告

燕市教育委員会 学校教育課 指導主事 有本千晴

今年度の海外派遣事業の訪問先は、オーストラリアのパース市とシンガポール共和国のシンガポール市でした。親善大使は、パースで2回、シンガポールで1回の燕市のPR活動を行いました。1回目はホームステイ地区の小学校で、約120人の聴衆を前にして発表しました。親善大使は、疲れも見せず堂々とした態度で燕市の素晴らしさを英語で伝えました。2回目は、オーストラリア人の小学生にクイズで燕市を知ってもらったり、日本の人気歌謡曲を英語で披露したりするという新しい試みに挑戦しました。新しい友達から「上手な英語だね」と褒めてもらったり、燕市のパンフレットに興味をもってもらったりして、親善大使は大きな自信を得て、学校生活やホームステイを楽しみました。3回目は、シンガポールで新潟県人会の方々と交流会での発表でした。全員が英語研修の成果を発表しようと頑張りました。この発表が一番良く出来たという手ごたえをもった親善大使も多かったようです。新潟県人会の皆さんとの交流では、海外で活躍する新潟県人の方々のお話から国際的な仕事について学び、自分の将来に思いを馳せながら、異国の地で同郷の人との心温まる交流をさせていただきました。

親善大使は、2つの国で現地の方々と絆を結び、またいつか自分の力で行きたいという気持ちをもつことができました。今回の貴重な機会を与えてくださいました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

